

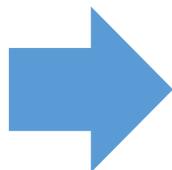
「人生100年時代の資産運用法」

長期的なゴールを目指した
パレット・サービス

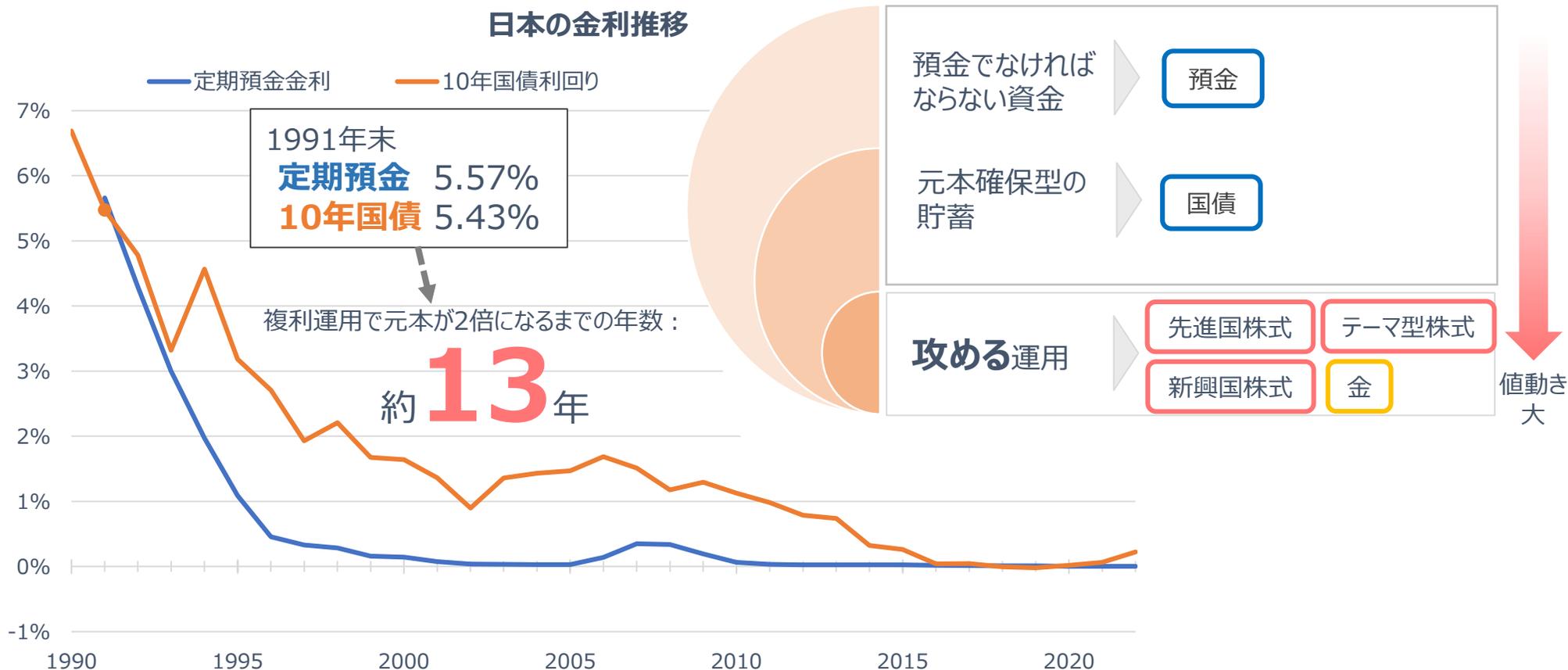
 福岡銀行  熊本銀行  十八親和銀行

1. 昔の預金金利をご存知ですか？

元本の安全な預金や国債で
金利5%の時代があった



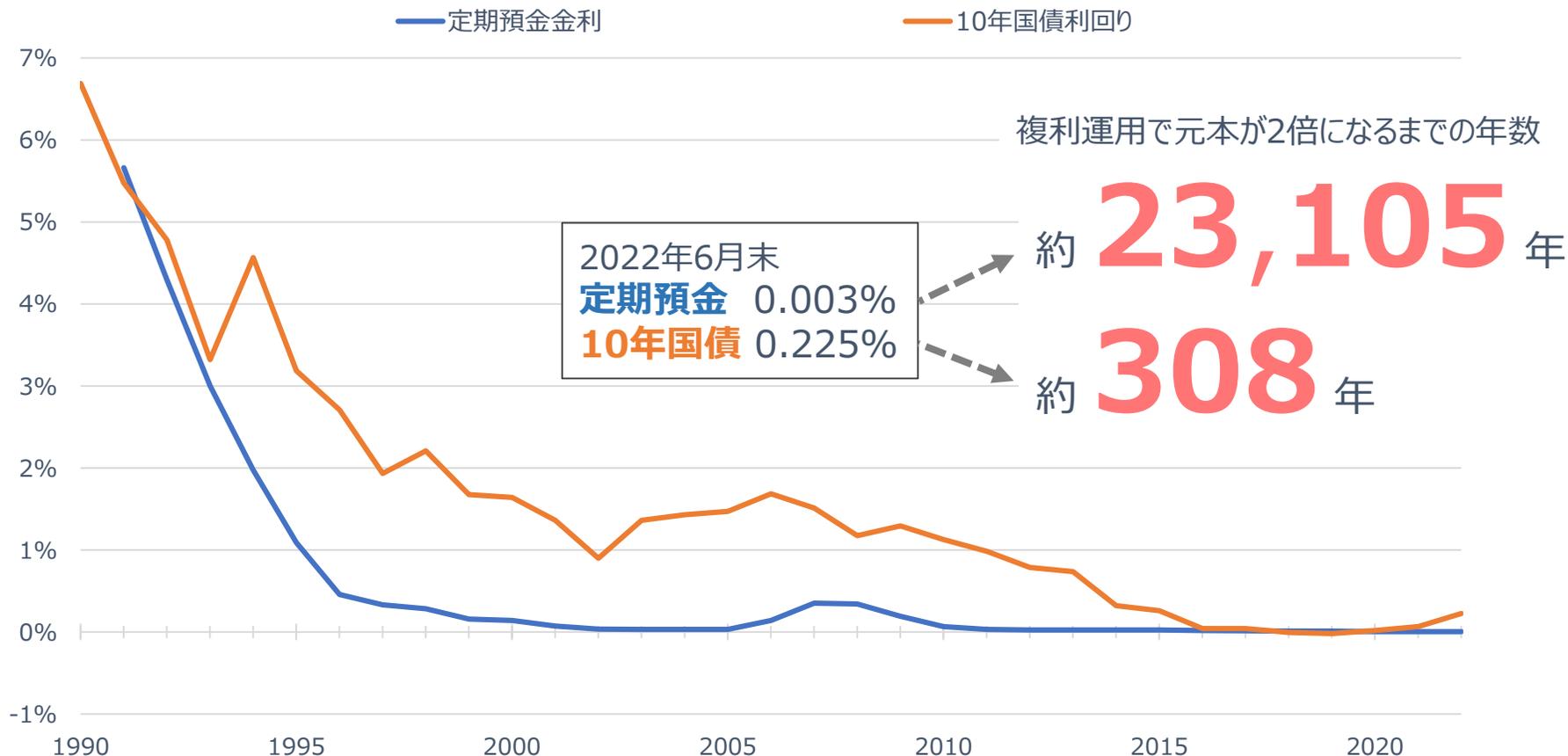
預金 あるいは 国債 で長期保有すれば
リスクのある資産運用は必要なかった！
（「攻める運用」はしたい人だけ）



(注) 定期預金金利は預入金額300万円以上1千万円未満1年物の平均利率。(出所) 日本銀行、ブルームバーグのデータよりFFG 投信調査センター作成。

2. 今は定期預金や国債だけで資産は殖えない時代

日本の金利推移



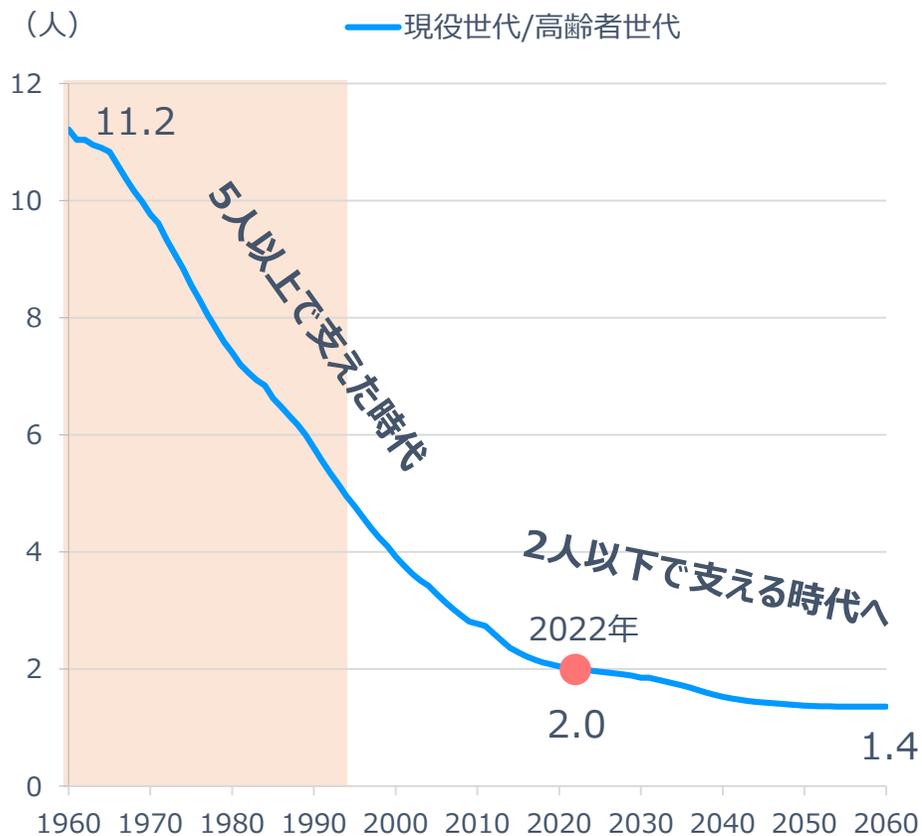
(注) 定期預金金利は預入金額300万円以上1千万円未満1年物の平均利率。

(出所) 日本銀行、ブルームバーグのデータよりFFG 投信調査センター作成。

3. 年金があるから大丈夫？

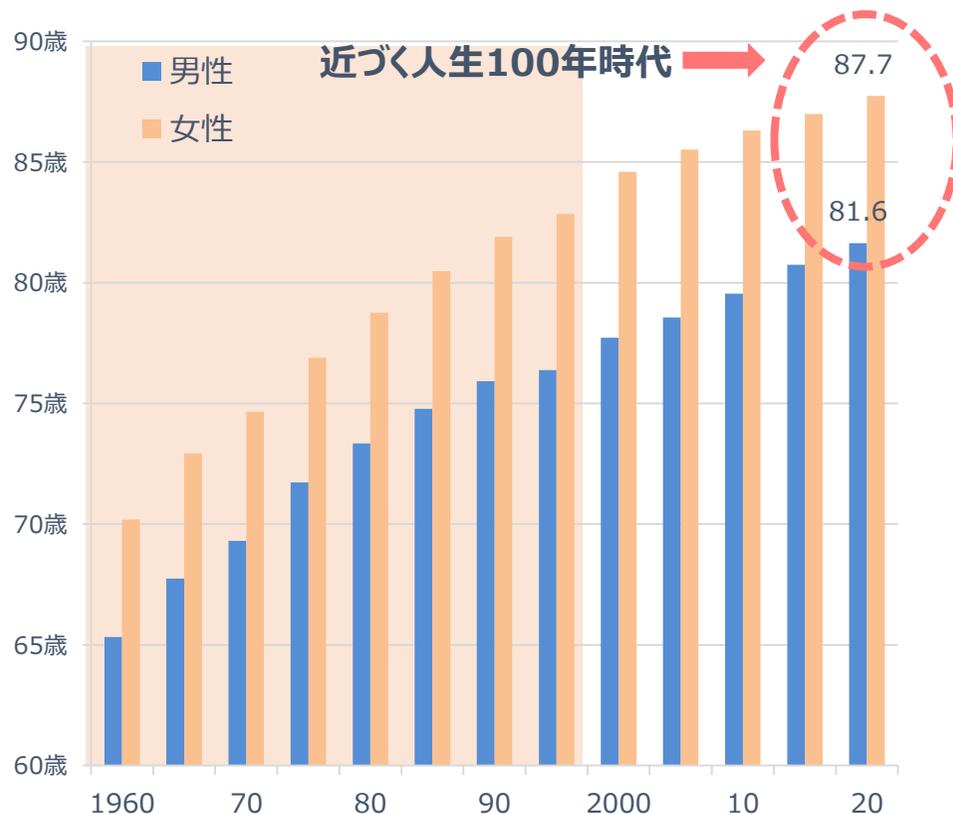
少子高齢化により支給年齢の引き上げと受け取りの減額の可能性も

高齢者比率と現役層比率



(注) 2016年以降は国立社会保障・人口問題研究所による推計値。
(出所) 総務省、国立社会保障・人口問題研究所データよりFFG 投信調査センター作成。

日本人の平均寿命推移



(出所) 厚生労働省データよりFFG 投信調査センター作成。

4. 更に老後のお金に関するリスクが増えています

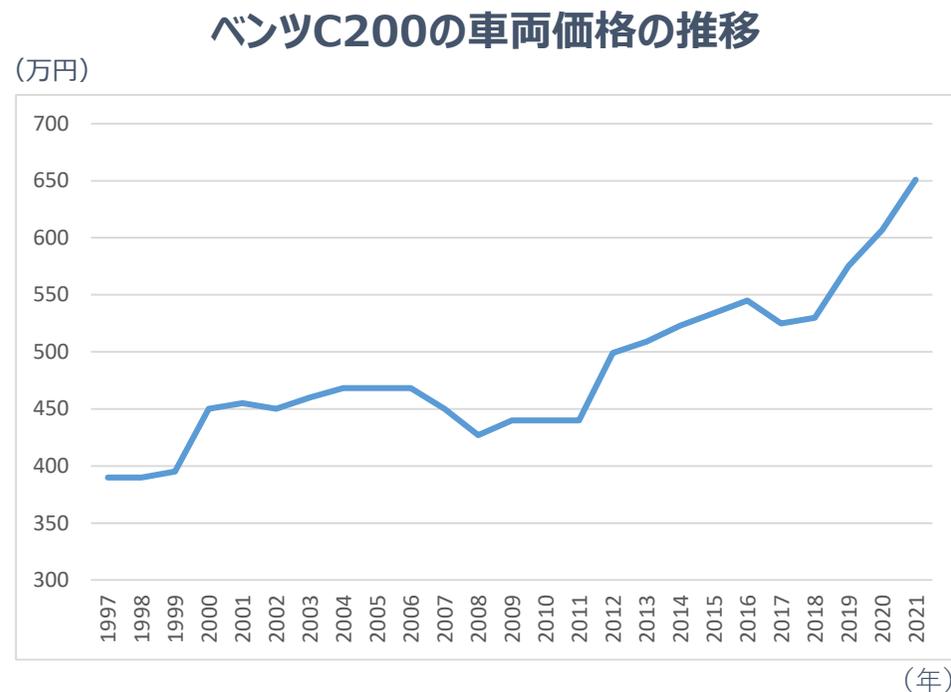
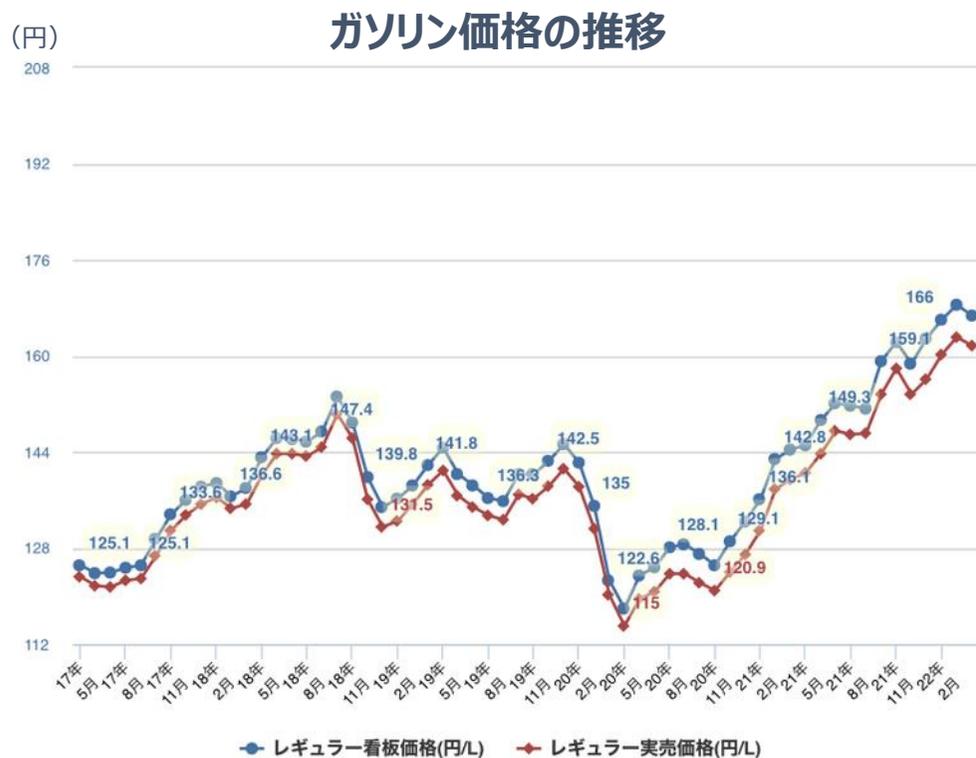
低金利・長寿に加え、円安・インフレ・増税のリスクも



5. 円安も個人にとってはマイナスです

- 加工型輸出産業（例えば半導体、電子部品）にとっては、円安はプラス
- 上場企業の企業収益は、大企業製造業のウェイトが高い（約6割）ので円安はプラス
- しかし…

個人にとっては、円安は、輸入原料、輸入品の値上がりで**マイナス**



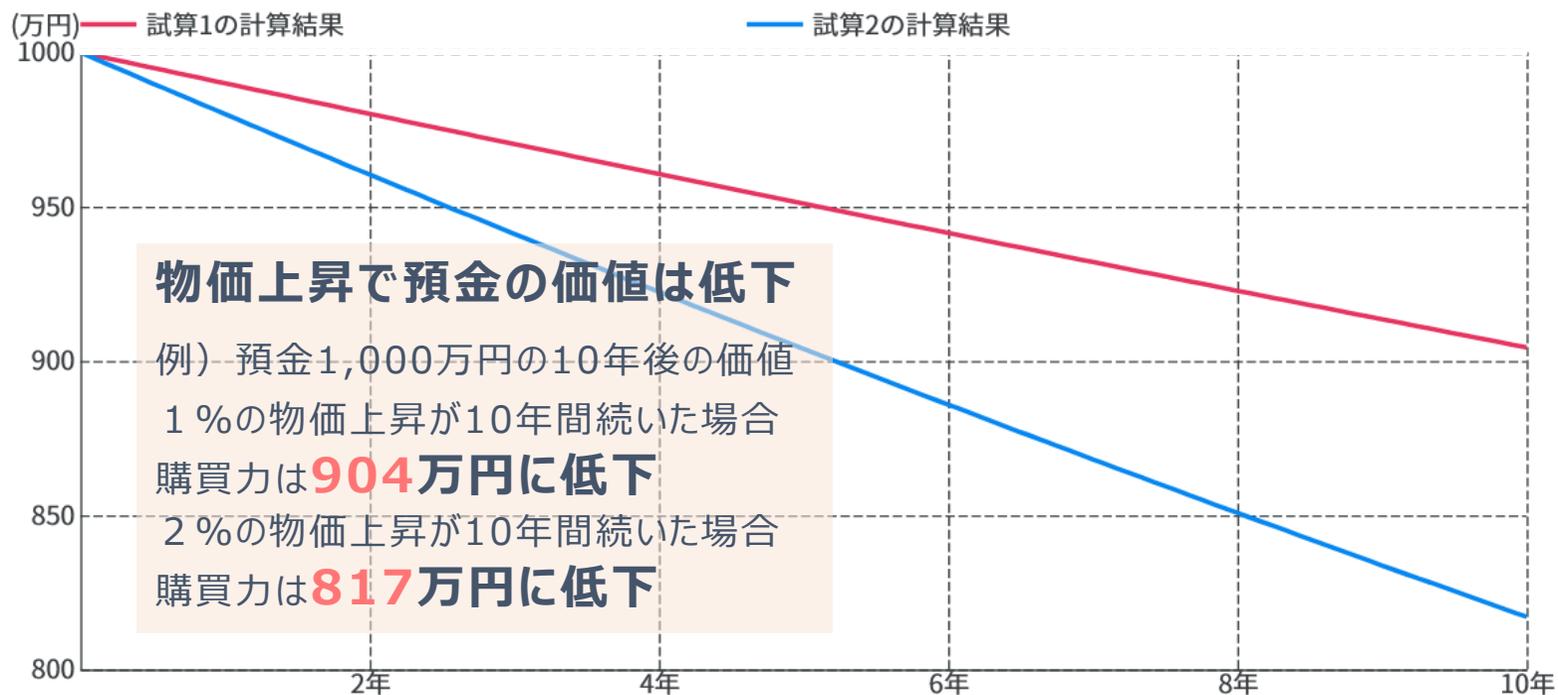
(出所) 資源エネルギー庁及びメルセデス・ベンツより。

6. インフレは預金の購買力の低下をもたらします

	月々の積立金額 (万円)	投資期間 (年)	初期投資額 (万円)	到達金額 (万円)	収益率	投資プラン
試算1	0	10	1000	904	-1	—
試算2	0	10	1000	817	-2	—

※上記のシミュレーションはリスク0を想定しています。

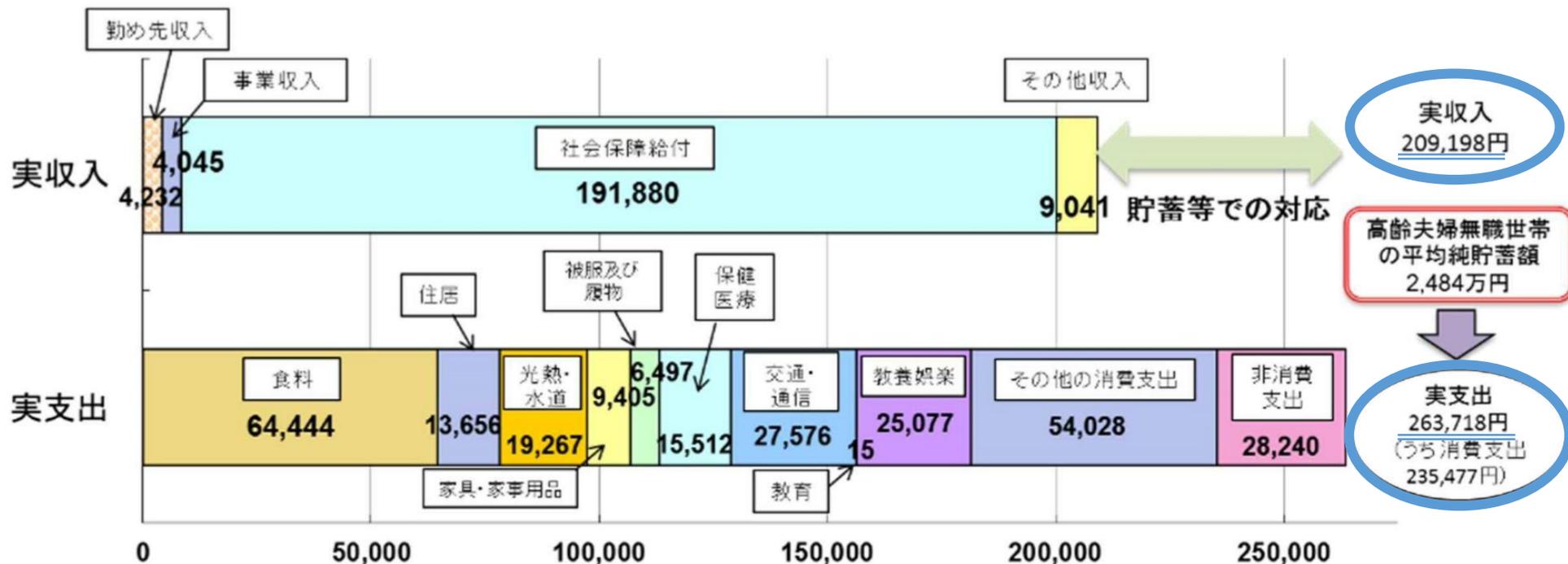
計算



(注) F-navi+を用いてインフレによる購買力の低下を計算。

7. 「老後2,000万円問題」が話題となりました

【高齢夫婦無職世帯(夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの無職世帯)】



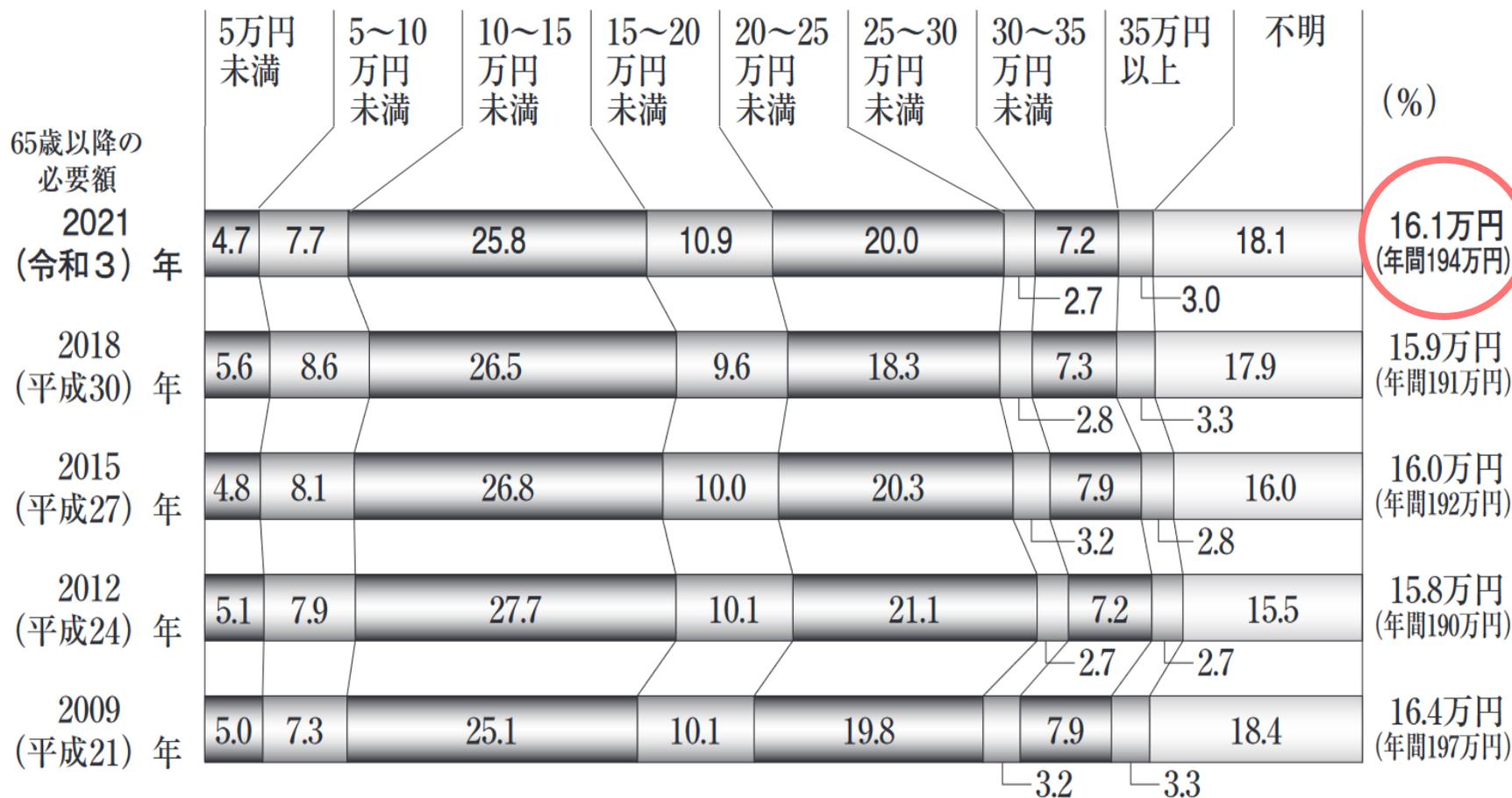
(出所)総務省「家計調査」(2017年)

○20.9万円 - 26.4万円 = ▲5.5万円 × 12か月 × 30年 ≒ ▲2,000万円

○支出26.4万円で満足できるのでしょうか？

8. 果たして2,000万円で足りるでしょうか？

公的年金以外の夫婦の老後の必要生活資金月額



○公的年金以外に必要と考える金額

仮に30年だと

$16.1万円 \times 12か月 \times 30年 = 5,796万円$



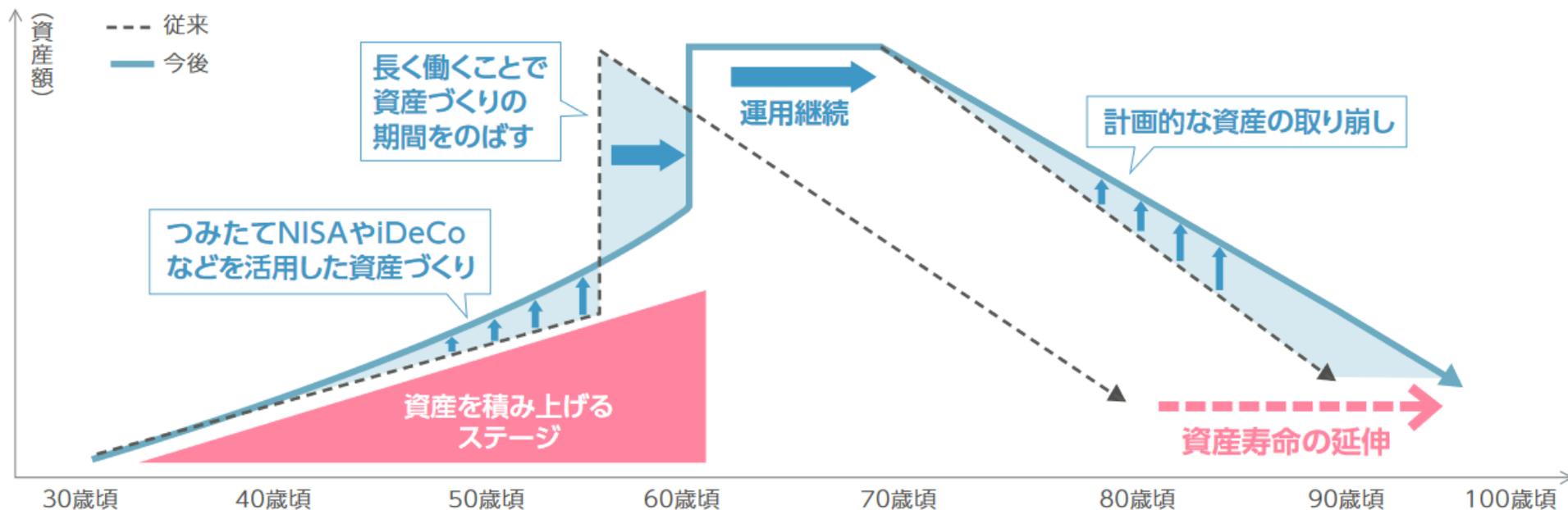
意外と大きい

(注) 生命保険文化センター『2021（令和3）年度「生命保険に関する全国実態調査」』

9. 金融資産の寿命を伸ばす必要がより一層高まっています

人生100年時代。いまある資産を育て、資産の寿命を伸ばすことが大切になっています。豊かな暮らしのために、**いまお持ちの資産をじっくり育てること**、また少子高齢化が進むなか老後の生活費を年金に頼ることがむずかしそうだからこそ、**おカネに働いてもらい長生きしてもらう方法**を一緒に考えてみませんか。

■資産額の推移イメージ



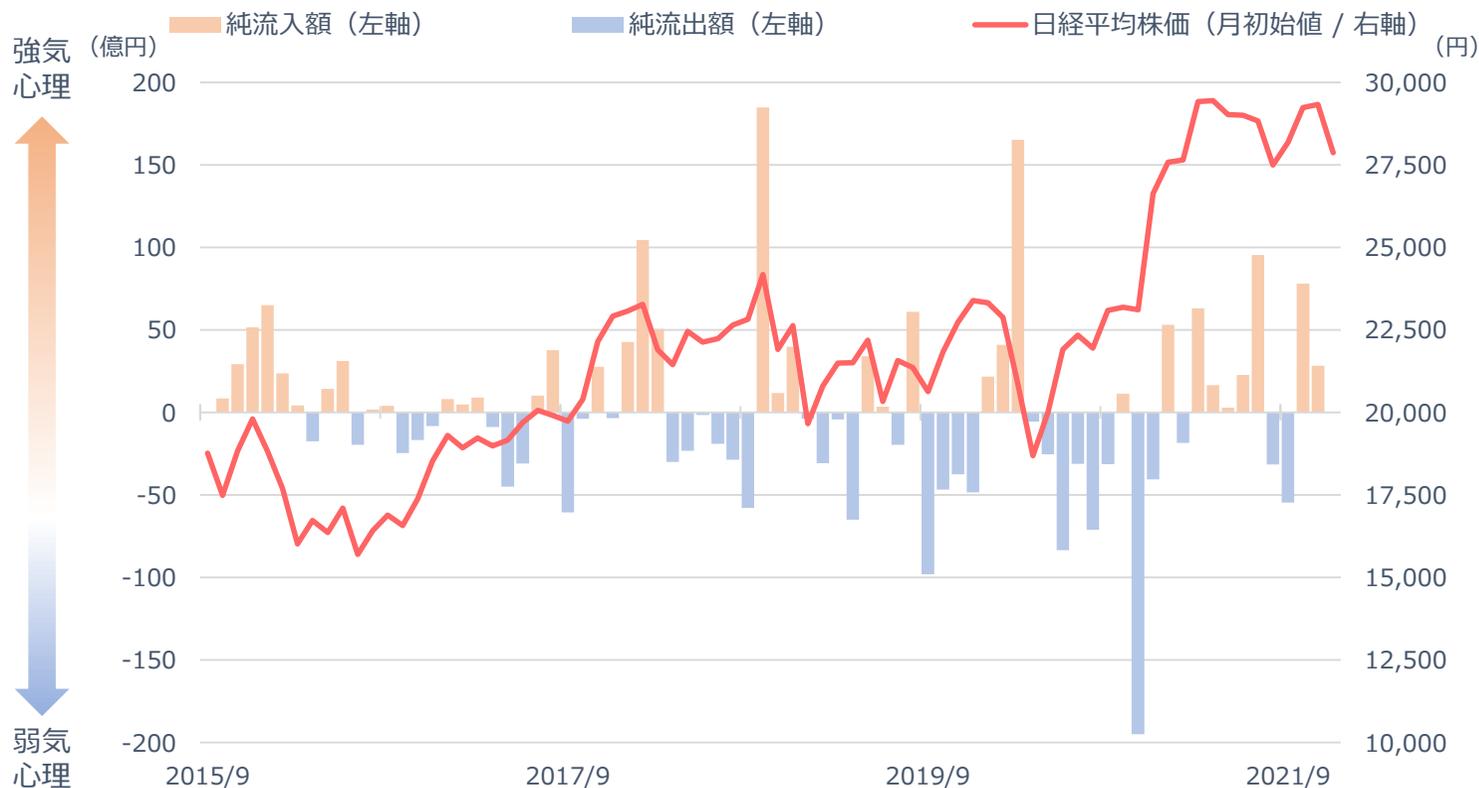
（出所）金融庁 金融審議会 市場ワーキング・グループ報告書「高齢社会における資産形成・管理」の概要から抜粋、一部加筆

10. 投資は「安く買って高く売る」こと？

「基本的に、テーマ型投資信託は売買のタイミングが重要な投資信託である。しかしながら後述のアクティブ運用投資信託のパフォーマンスが示唆するように、適切な売買のタイミングを継続的に見極めることができる投資家はプロの中にも少ないと考えられ、個人投資家にとっては更にハードルが高いと考えられる。」

金融庁『平成28事務年度レポート』Ⅱ．活力ある資本市場と安定的な資産形成の実現、市場の公正性・透明性の確保 より抜粋

日経平均に連動するブル型投資信託

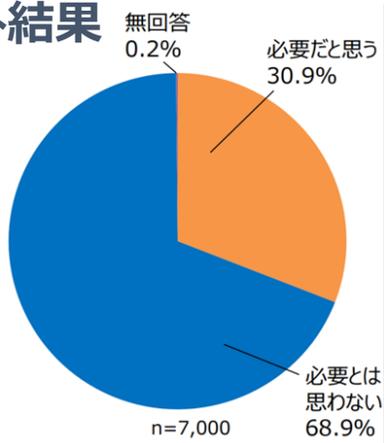


(注) 図は楽天日本株4.3倍ブルのデータ (2015年9月末～2021年12月末) を使用。
(出所) モーニングスター株式会社のデータを基にFFG 投信調査センター作成。

11. 運用はやっぱり怖いと思いませんか？

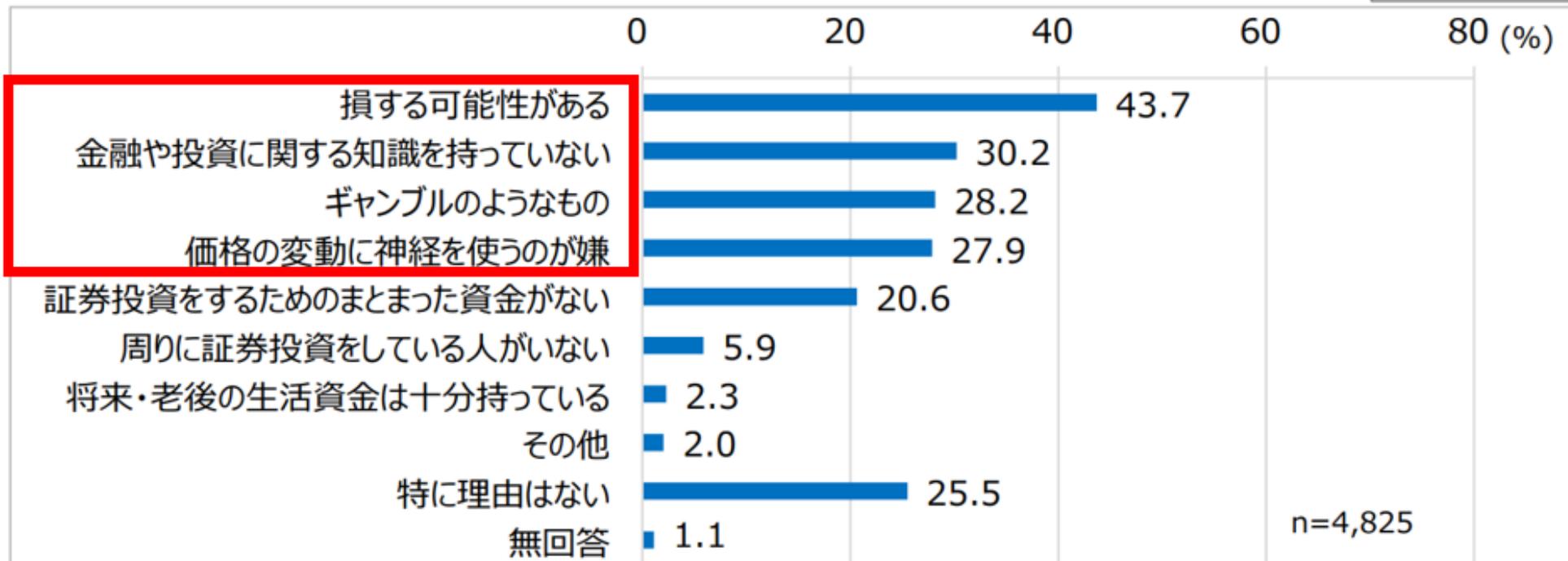
証券投資の必要性についてのアンケート結果

運用を諦める方が多い →



<証券投資が必要とは思わない理由>

複数回答

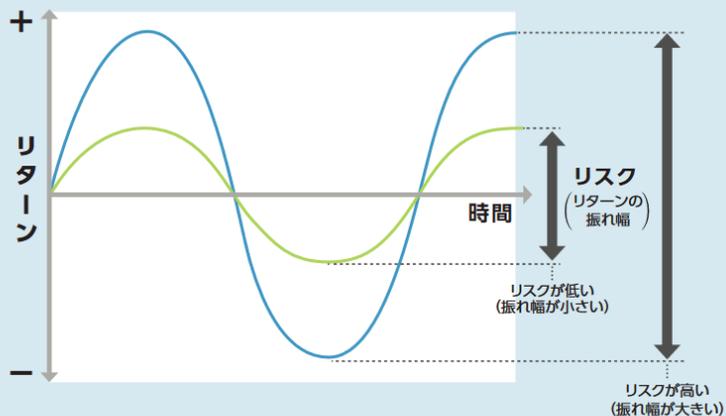


(出所) 日本証券業協会：証券投資に関する全国調査（調査結果概要）2021年12月15日

12. 短期で高い運用成果を望まなければ、運用のリスクは抑えることができます

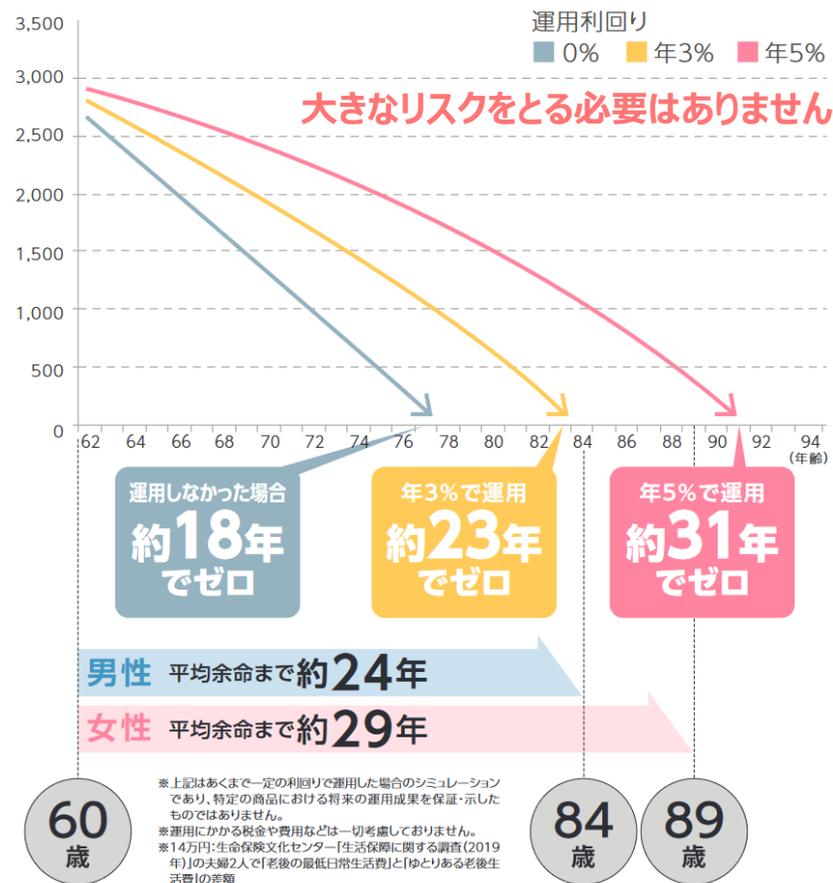
高いリターンが期待できる商品ほど、リスクも高くなります

「リスク」というのは、価格の振れ幅のことです。一般的に大きなリターン(収益)が期待できる商品はリスク(価格の振れ幅)も大きく、リスクが小さい商品は期待できるリターンも小さくなります。



60歳から、3,000万円を毎月14万円ずつ取り崩した場合のお金の寿命

(単位:万円)

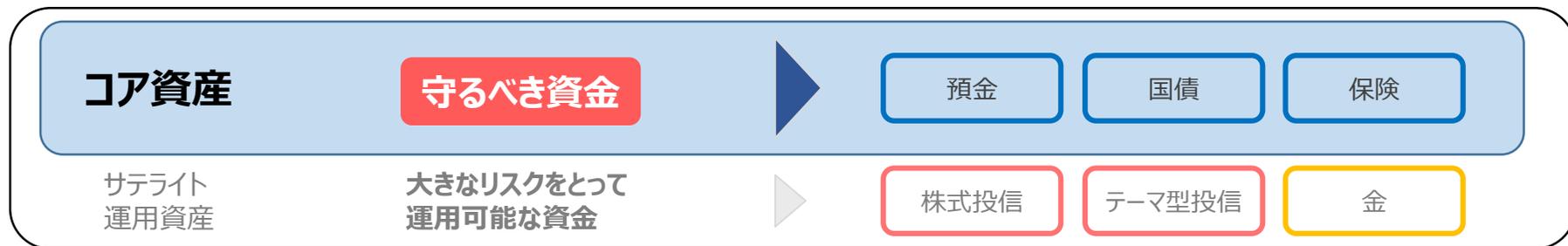


(出所) FFG投信調査センター作成。

13. 是非、コア資産を決めリスクを抑えた運用を検討しましょう

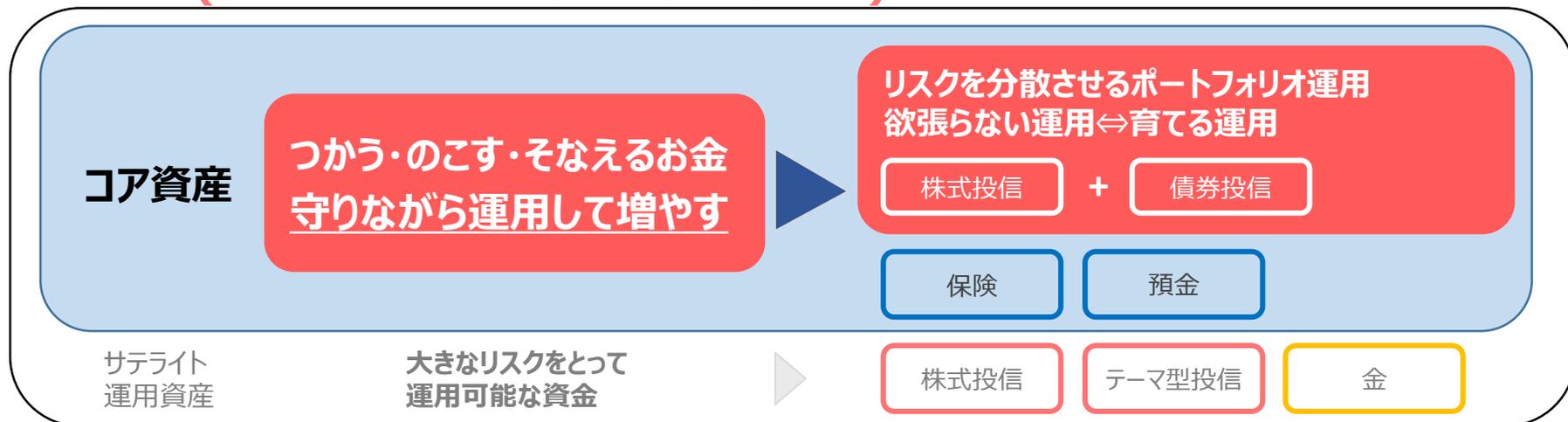
高金利だった時代

コア資産 = 金融資産 - (日常生活費・近く使う資金) = リスクをとってまで運用する必要がないお金



低金利下の人生100年時代: ふやす工夫が必要

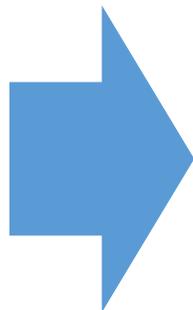
コア資産 = (将来つかう・のこす・そなえるお金)



14. 誰にでもできる簡単な資産運用法があります

『投資』に対する発想を転換してみましょう！

- ❑ 投資とは『安く買って高く売る』ことだ
- ❑ 自分には元本保証でない投資はとても無理だ



- ① 運用実績の優秀な投信で
- ② 国際分散投資を行い
- ③ できるだけ長期で保有し
続けましょう
※若い人は積み立てましょう

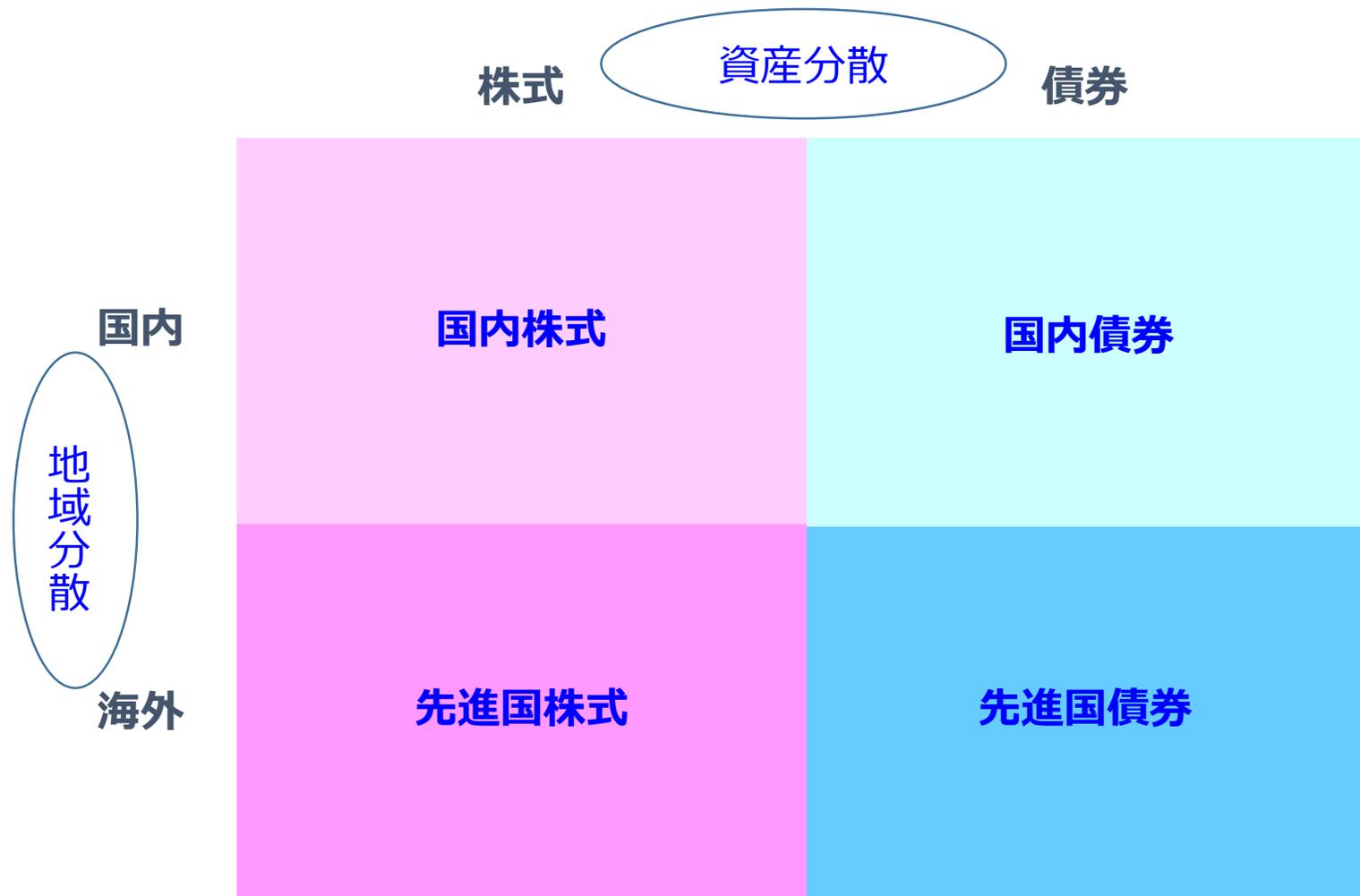
さらに・・・

優秀なファンドは、
短期的に不振でも保有し続けましょう
利益が出ても保有し続け、解約は使うとき使う分だけ

15. 国際分散投資の基本は先進国への投資

国際分散投資とは、投資対象を国内と海外の複数の種類の資産に分けて投資すること

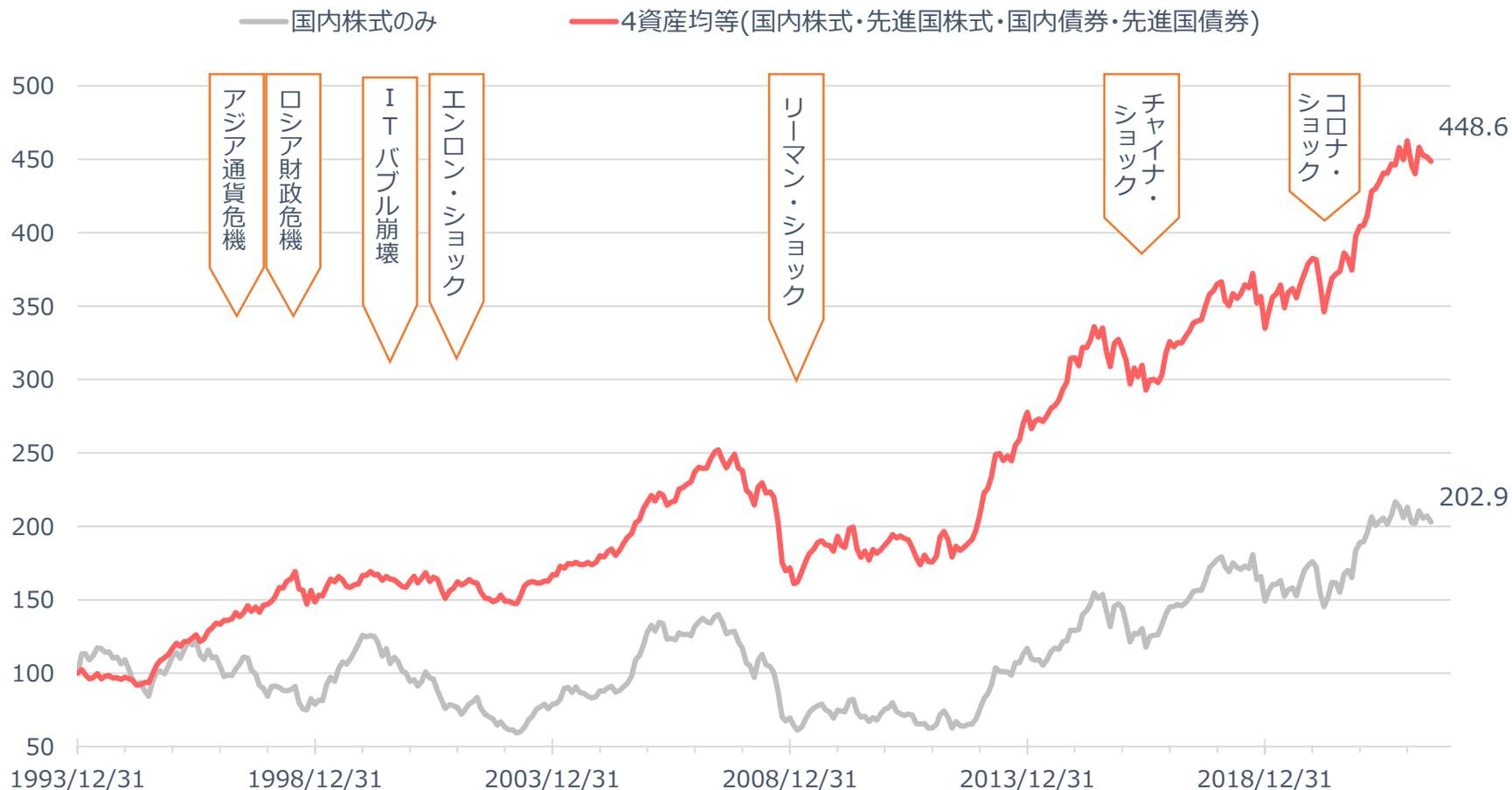
<最も基本的な4つの資産による国際分散投資パターン>



(出所) FFG 投信調査センター作成。

16. あらゆるショックを乗り越えてきた「国際分散投資」×「長期保有」

国内だけの投資と国際分散投資した場合の投資成果の違い (1993年12月末～2022年6月末)

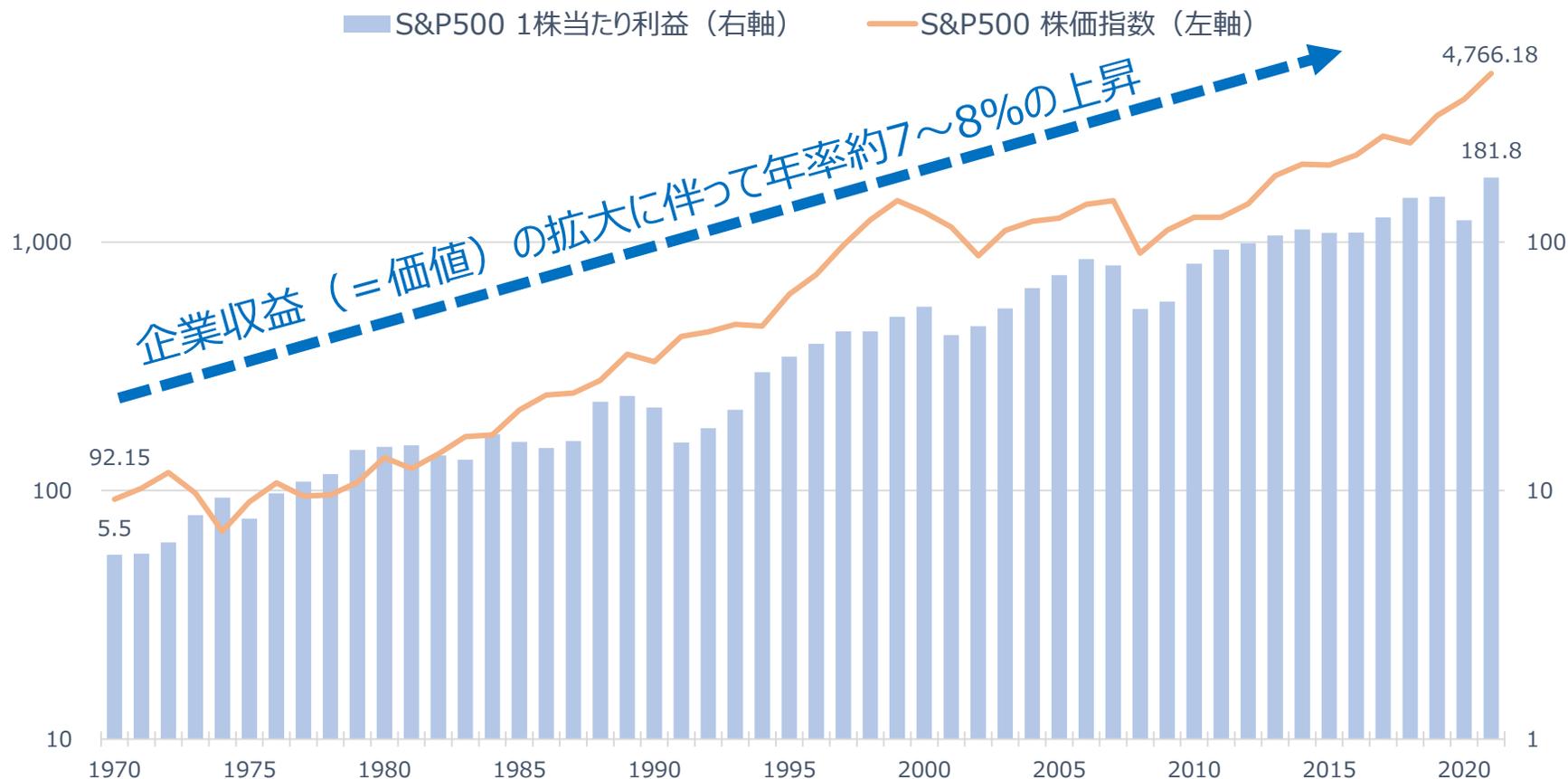


(注) 1993年12月末に国内株式、先進国株式、国内債券、先進国債券に等金額投資を開始した場合の運用状況と国内株式のみに投資した場合の運用状況と比較している。4資産等金額投資の場合、当初の資産配分からいずれかの資産が5%以上乖離した場合にはリバランスを行ったと仮定している。また、計算にあたっては円ベースの収益率を用いた。
(出所) ブルームバーグのデータよりFFG 投信調査センター作成。

17. 株式を保有するのは怖い？

「複数の株式の組み合わせ（ポートフォリオ）」で「長期保有」することは投機的ではありません
長期の資産形成では“価格の裏づけとなる価値が増え続けるもの”に投資をすることが大切です

S&P500株価指数と1株当たり利益の推移（1970年～2021年：対数目盛）



(注) 株価指数は各年末時点、1株当たり利益は見込み。(出所) ブルームバーグよりFFG 投信調査センター作成。

18. 成功の秘訣は「タイミング」ではありません 「保有し続ける」ことが重要です

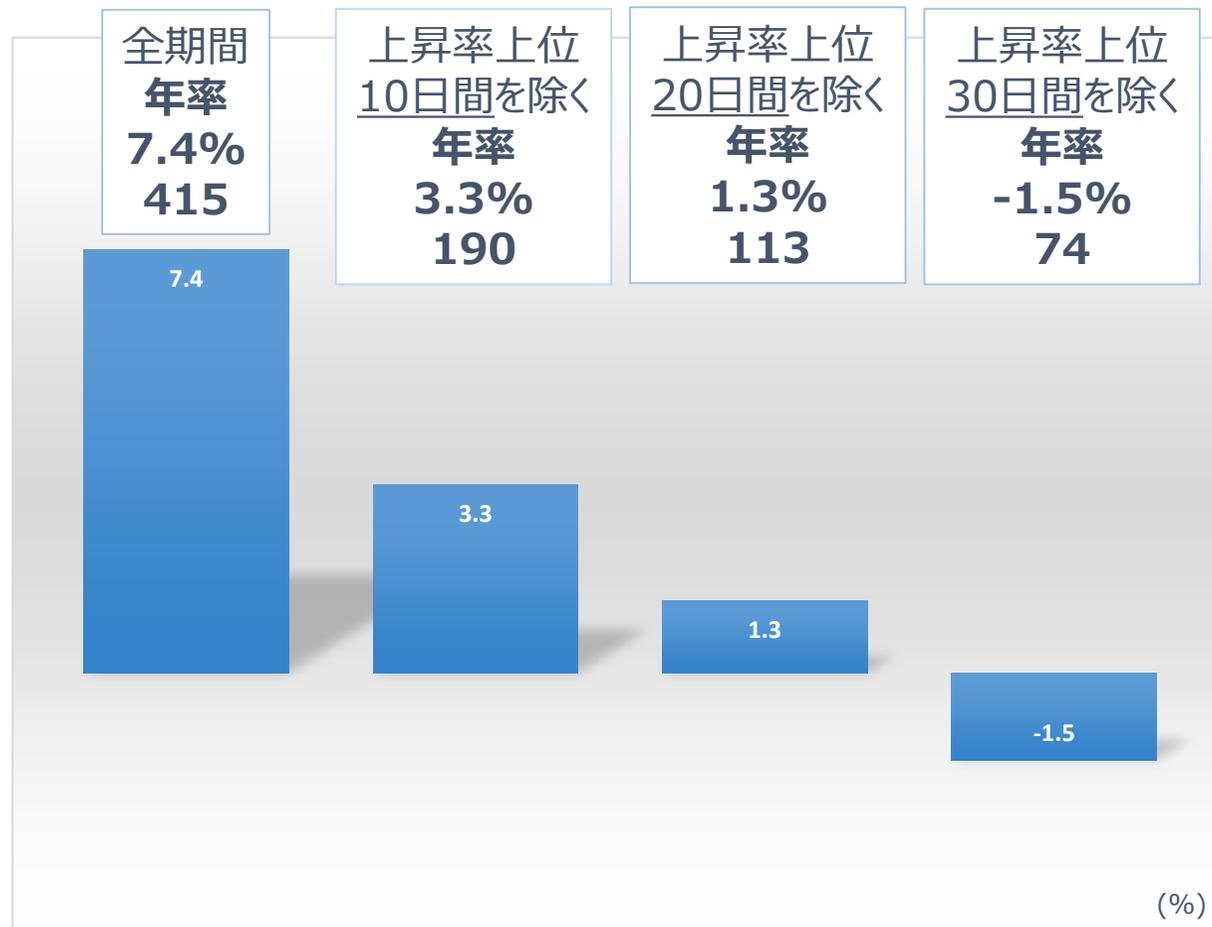
図は2001年末～2021年末のS&P500を指数化したチャートです。スタートを100とした場合、2021年末時点では415となっています

ここで忘れてはいけないのは、この415という成果は毎日の積み重ねで達成されるものだということです



18. 成功の秘訣は「タイミング」ではありません 「保有し続ける」ことが重要です

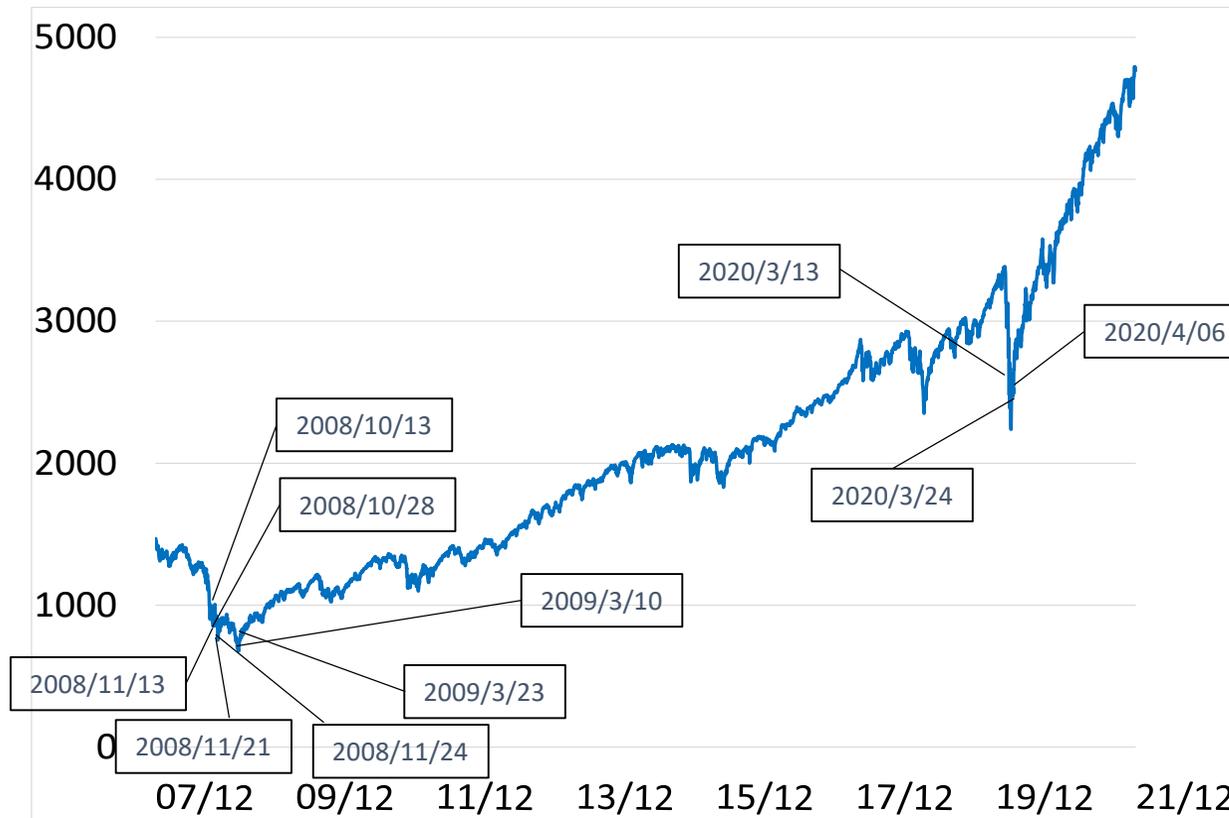
前頁の期間のうち上昇率の高い日を取り除き運用成果をシミュレーションしてみると以下ようになります
上昇率の高い数日に投資を行わないと良い成果が出せないのです



順位	日付	上昇率
1	2008/10/13	11.6
2	2008/10/28	10.8
3	2020/03/24	9.4
4	2020/03/13	9.3
5	2009/03/23	7.1
6	2020/04/06	7.0
7	2008/11/13	6.9
8	2008/11/24	6.5
9	2009/03/10	6.4
10	2008/11/21	6.3
11	2020/03/26	6.2
12	2020/03/17	6.0
13	2002/07/24	5.7
14	2008/09/30	5.4
15	2002/07/29	5.4
16	2008/12/16	5.1
17	2018/12/26	5.0
18	2020/03/10	4.9
19	2008/10/20	4.8
20	2011/08/09	4.7

18. 成功の秘訣は「タイミング」ではありません 「保有し続ける」ことが重要です

しかも上昇率上位の多くはリーマンショックやコロナショックの調整局面の最中にあります
タイミングに集中していたら大きな成果は得られないと思われます



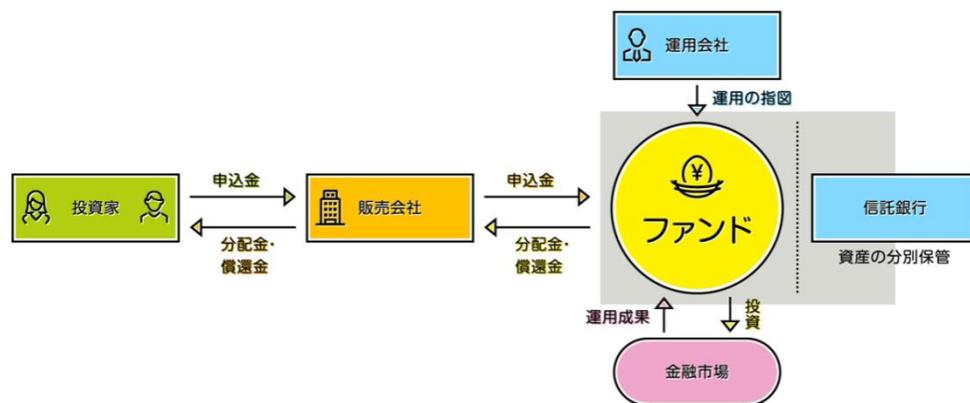
順位	日付	上昇率
1	2008/10/13	11.6
2	2008/10/28	10.8
3	2020/03/24	9.4
4	2020/03/13	9.3
5	2009/03/23	7.1
6	2020/04/06	7.0
7	2008/11/13	6.9
8	2008/11/24	6.5
9	2009/03/10	6.4
10	2008/11/21	6.3
11	2020/03/26	6.2
12	2020/03/17	6.0
13	2002/07/24	5.7
14	2008/09/30	5.4
15	2002/07/29	5.4
16	2008/12/16	5.1
17	2018/12/26	5.0
18	2020/03/10	4.9
19	2008/10/20	4.8
20	2011/08/09	4.7

19. 投資信託は安心して簡単な資産運用手段です

- ・小口で分散投資が可能 ・専門家が替わって運用 ・個人では投資できない資産にも投資できる
 - ・販売会社、運用会社、信託銀行、3つの金融機関が相互牽制しており、資金の不正使用を防止
 - ・基準価額（10,000口当りの時価）を毎営業日公開 ・現金化が容易
- 投資家から集めたお金をひとつの大きな資金としてまとめ、運用の専門家が株式や債券などに投資・運用する商品
出資割合（口数）に応じて運用収益を享受



- 投資信託は、販売・運用・資産の保管それぞれの専門機関が役割を分担することで成り立つ金融商品



(出所) 投資信託協会

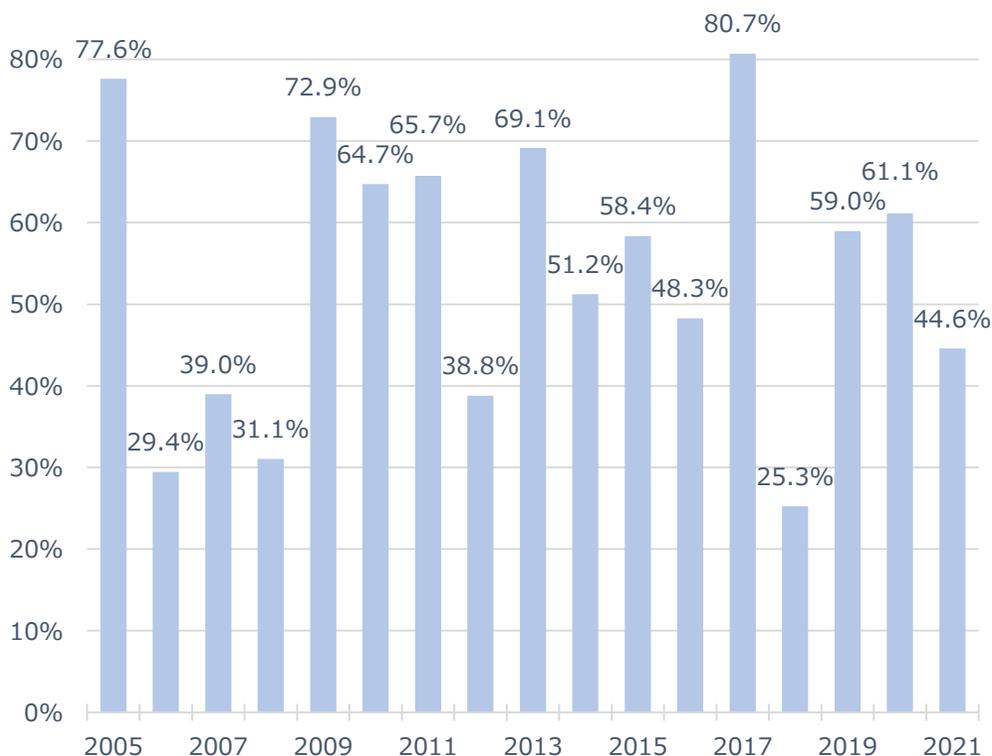
※英国最初の投資信託「フォーリン・アンド・コロニアル・インベストメント・トラスト」・・・英国外の高い金利を個人投資家に提供（1868年創設）

20. ただし注意点も・・・それは「玉石混交」であること

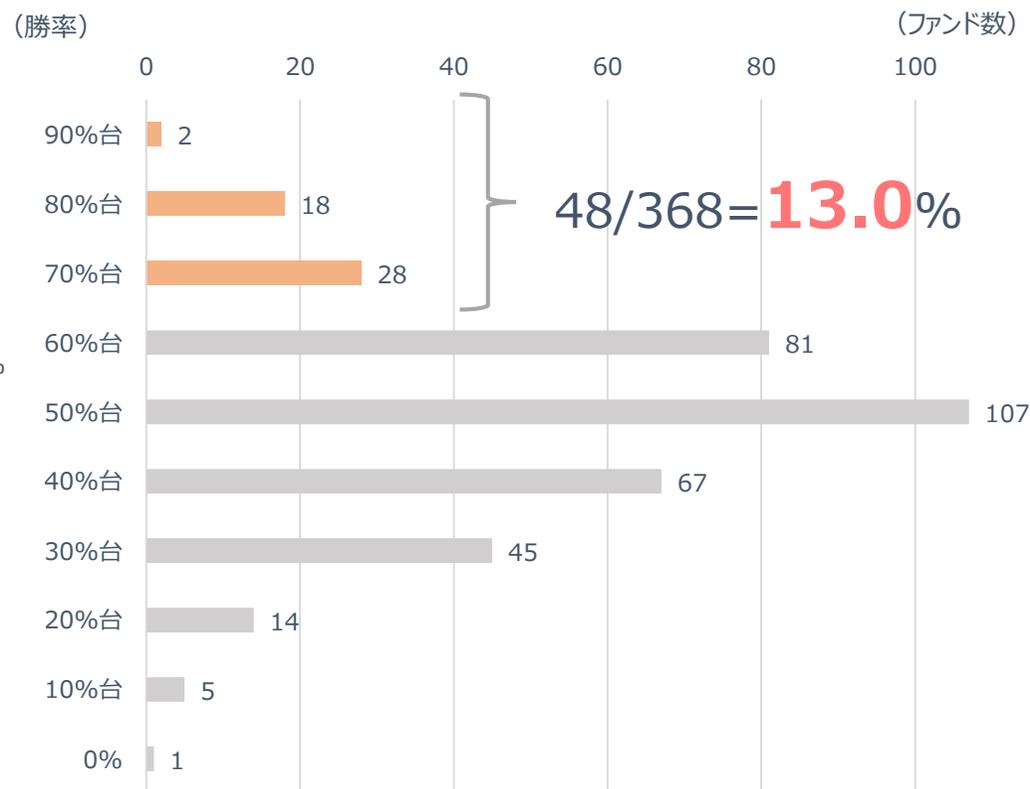
数ある投資信託の中から運用実績の優秀な投資信託を選ぶには？

【国内株式に投資する投資信託の例】

TOPIX型インデックスファンドのリターンを上回ったアクティブファンドの割合



1999年以降の勝率別のアクティブファンド数



(注) 2021年12月末時点で満5年以上運用期間があるインデックス型を除く国内株式型ファンド368本のうち、1999年以降JA TOPIXオープンを上回る年間リターンを上げたものを集計。

(出所) モーニングスター株式会社のデータを基にFFG 投信調査センター作成。

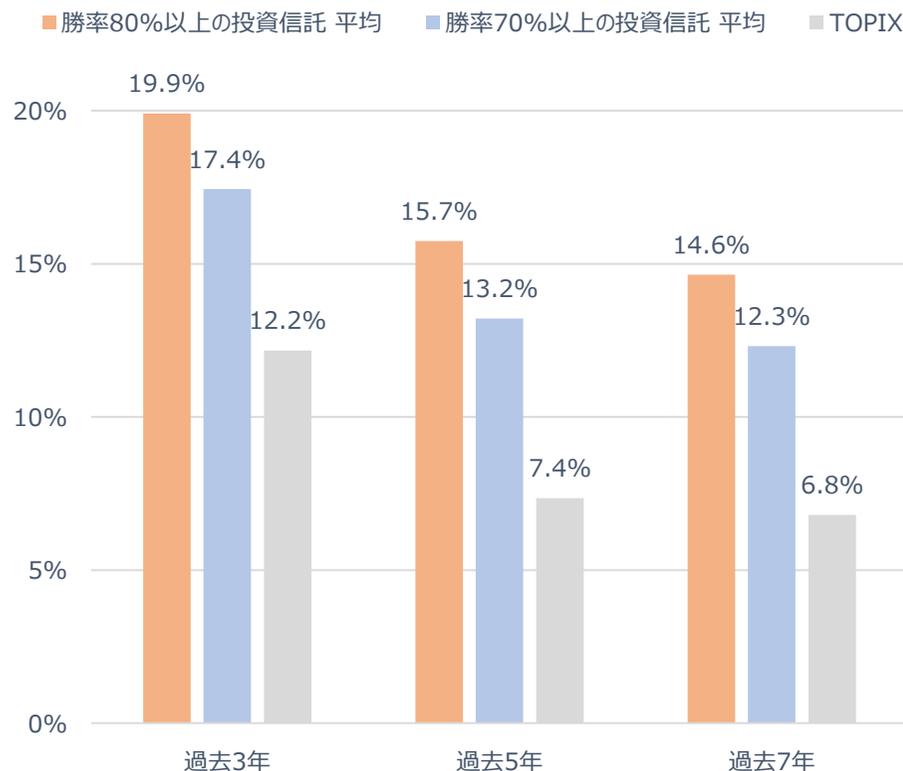
※インデックスファンド・・・日経平均やTOPIXなどの指数（ベンチマーク）に連動した運用成果を目指す投資信託

※アクティブファンド・・・インデックス（ベンチマーク）を上回る成果を目指す投資信託

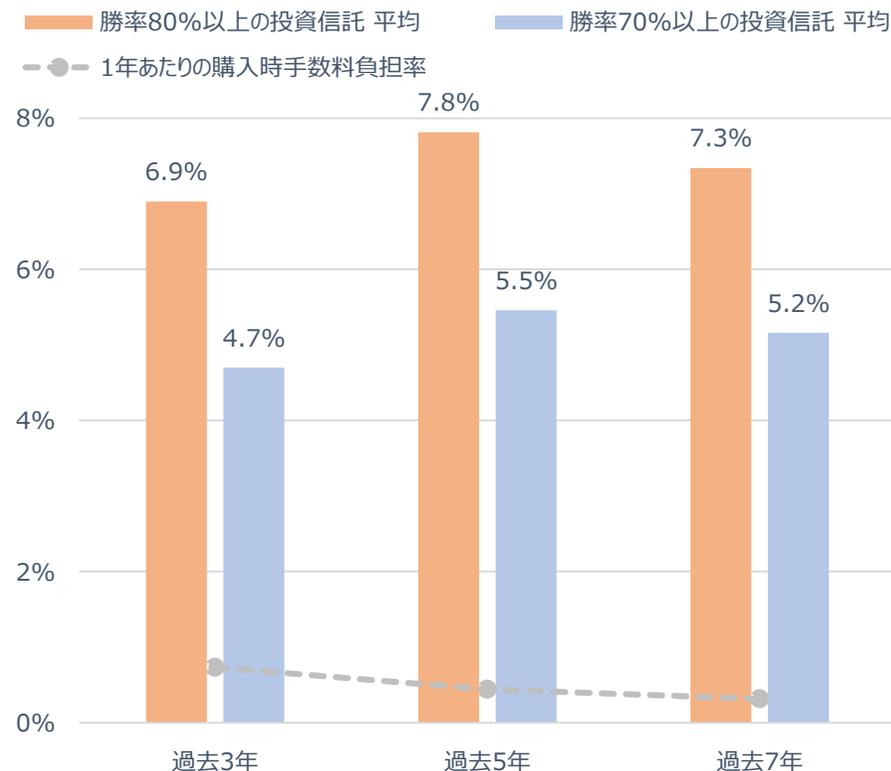
21. 投信選びのポイントは第一に運用実績、コストはその次

運用成績の優秀な投信を選べれば、購入時手数料は十分カバー可能

勝率の高い国内株式型アクティブファンドの平均リターンと
TOPIX型インデックスファンドの比較



勝率の高い国内株式型アクティブファンドの
対TOPIX超過リターンと購入時手数料の比較



(注) 前ページ 右図の勝率「70%台」～「90%台」に属する投資信託計48本、および「80%台」～「90%台」に属する投資信託計20本について、それぞれ収益率の平均を算出。
左図では、TOPIX型インデックスファンドのリターンを加えて2021年12月末を基点とした過去3年、5年および7年のリターン（年率換算値）を比較している。
右図では、同期間においてTOPIXのインデックスファンドを上回ったリターンの値を複利法で年率化し、1年あたりの購入時手数料負担率と比較している。購入時手数料は2.2%と仮定した。
(出所) モーニングスター株式会社のデータを基にFFG 投信調査センター作成。

22. だからFFGはF-navi+を独自開発しました

投信分析システム「ファンド・ナビゲーション・プラス」を使用してアドバイスします
投資信託の良し悪しは、比べてみて初めてわかる
比べるには、データベースを保有する分析システムが不可欠



FFG独自の投信分析システム
“**ファンド・ナビゲーション・プラス（F-navi+）**”

**国内ほぼすべてのオープン型公募投資信託
（ファンドラップ採用投信も含む）**

約4,800本を 徹底比較

23. 比べるために・・・投資信託を45のグループに分類

各グループ内で（＝同じ種類の投資信託で）比較して評価をします

日本の株式	先進国の株式	新興国の株式	資源	日本の債券	先進国の債券		新興国の債券	REIT	資産複合型	特殊型
国内株式 アクティブ	先進国株式 世界・アクティブ	新興国株式 世界	資源関連株式	国内債券 アクティブ	先進国債券 世界・アクティブ	ハイイールド債券	新興国債券 世界	国内REIT	バランス型 保守	通貨選択型 株式等・先進国 通貨コース
国内株式 中小型	先進国株式 世界・テーマ型	新興国株式 アジア	コモディティ	国内債券 インデックス	先進国債券 世界・インデックス	ハイイールド債券 為替ヘッジあり	新興国債券 アジア	海外REIT	バランス型 標準	通貨選択型 株式等・新興国 通貨コース
国内株式 テーマ型	先進国株式 世界・インデックス	新興国株式 中南米			先進国債券 北米	ハイブリッド証券	新興国債券 中南米		バランス型 積極	通貨選択型 債券等・先進国 通貨コース
国内株式 インデックス	先進国株式 北米	新興国株式 その他			先進国債券 欧州	ハイブリッド証券 為替ヘッジあり	新興国債券 その他		バランス型 投資比率可変	通貨選択型 債券等・新興国 通貨コース
	先進国株式 欧州				先進国債券 アジア太平洋		新興国債券 為替ヘッジあり			ヘッジファンド
	先進国株式 アジア太平洋				先進国債券 為替ヘッジあり					ブルベア

24.すべて定量データに基づく公平中立な評価

(例) 「国内株式中小型」グループでの運用成果 順位のつけ方

(1年リターンのグループ内順位の分数値)×20%+(3年リターンのグループ内順位の分数値)×30%+(5年リターンのグループ内順位の分数値)×50%

基本情報 [絞込] [絞込解除]	評価	ランキング	運用成果①	運用成果②	運用安定性①	運用安定性②	分配金の魅力	分配金の安定性	月報①	月報②	投資通貨	投資地域	人気	コスト	その他	リターン(%,順位/グループ銘柄数)						
																1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年(年率)	5年(年率)	7年(年率)
<input type="checkbox"/>			DIAM 新興市場日本株ファンド	国内株式 - 中小型	-0.2 (93/97)	14.9 (1/96)	11.2 (1/94)	3.0 (4/90)	22.0 (8/74)	26.1 (1/66)	35.9 (1/55)	32.9 (1/50)	- (-/-)	1173.8								
<input type="checkbox"/>			MHAM 新興成長株オープン	国内株式 - 中小型	4.0 (7/97)	10.8 (19/96)	3.9 (18/94)	-0.1 (8/90)	23.9 (6/74)	24.5 (3/66)	27.3 (5/55)	21.8 (7/50)	- (-/-)	189.4								
<input type="checkbox"/>			東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン	国内株式 - 中小型	2.4 (39/97)	6.3 (61/96)	7.4 (4/94)	12.4 (2/90)	31.3 (2/74)	23.1 (8/66)	- (-/-)	- (-/-)	- (-/-)	219.4								
<input type="checkbox"/>			日興グローイング・ベンチャーファンド	国内株式 - 中小型	1.5 (73/97)	11.7 (8/96)	5.3 (14/94)	-2.3 (11/90)	31.6 (1/74)	23.8 (5/66)	27.7 (4/55)	21.0 (11/50)	- (-/-)	394.0								
<input type="checkbox"/>			企業価値成長小型株ファンド	国内株式 - 中小型	1.6 (66/97)	12.2 (4/96)	9.9 (3/94)	18.0 (1/90)	26.2 (5/74)	- (-/-)	- (-/-)	- (-/-)	- (-/-)	112.6								
<input type="checkbox"/>			SBI 小型成長株ファンドジェイクル	国内株式 - 中小型	1.2 (78/97)	11.2 (12/96)	4.3 (16/94)	-3.6 (14/90)	29.9 (4/74)	23.5 (6/66)	28.6 (3/55)	22.9 (5/50)	- (-/-)	-100.0								

基本情報 [絞込] [絞込解除]	評価	ランキング	運用成果①	運用成果②	運用安定性①	運用安定性②	分配金の魅力	分配金の安定性	月報①	運用の成果		
										運用の成果(短期) 順位/グループ銘柄数	運用の成果(長期) 順位/グループ銘柄数	運用の安定性 順位/グループ銘柄数
<input type="checkbox"/>			DIAM 新興市場日本株ファンド	国内株式 - 中小型						1/90	1/66	21/90
<input type="checkbox"/>			MHAM 新興成長株オープン	国内株式 - 中小型						2/90	3/66	8/90
<input type="checkbox"/>			東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン	国内株式 - 中小型						2/90	6/66	1/90
<input type="checkbox"/>			日興グローイング・ベンチャーファンド	国内株式 - 中小型						4/90	6/66	7/90
<input type="checkbox"/>			企業価値成長小型株ファンド	国内株式 - 中小型						5/90	-/-	4/90
<input type="checkbox"/>			SBI 小型成長株ファンドジェイクル	国内株式 - 中小型						6/90	2/66	10/90

25.6つの項目ごとに【5】～【1】の5段階評価

なかでも『運用成果』に基づく評価が特に重要

投信のパレット ファンド・パレット

参考情報

マニュアル

ログアウト

基本情報	評価	ランキング	運用成果①	運用成果②	運用安定性①	運用安定性②	分配金の魅力	分配金の安定性	月報①	月報②	投資通貨	投資地域	人気	コスト	その他
[絞込] [絞込解除]	ファンド名	グループ	運用の成果	運用の成果(長期)	運用の安定性	分配金の魅力	分配金の安定性	コスト	人気						
<input type="checkbox"/>	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	先進国株式 - 世界・アクティブ	2	2	2	5	1	2	5						
<input type="checkbox"/>	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	ハイイールド債券	5	5	5	5	1	4	2						
<input type="checkbox"/>	フィデリティ・USリート・ファンド B(為替ヘッジなし)	海外REIT	5	5	4	5	2	2	2						
<input type="checkbox"/>	ひふみプラス	国内株式 - アクティブ	5	5	5			4	1						
<input type="checkbox"/>	新光 US-REITオープン	海外REIT	5	4	4	5	1	2	1						
<input type="checkbox"/>	東京海上・円資産バランスファン	バランス型 - 円資産	3	3	4	3		4	5						

全 4767 件中 1 件 ~ 50 件を表示 < 1 2 3 4 5 6 ... 96 >

* 参考として「人気」も評価しています

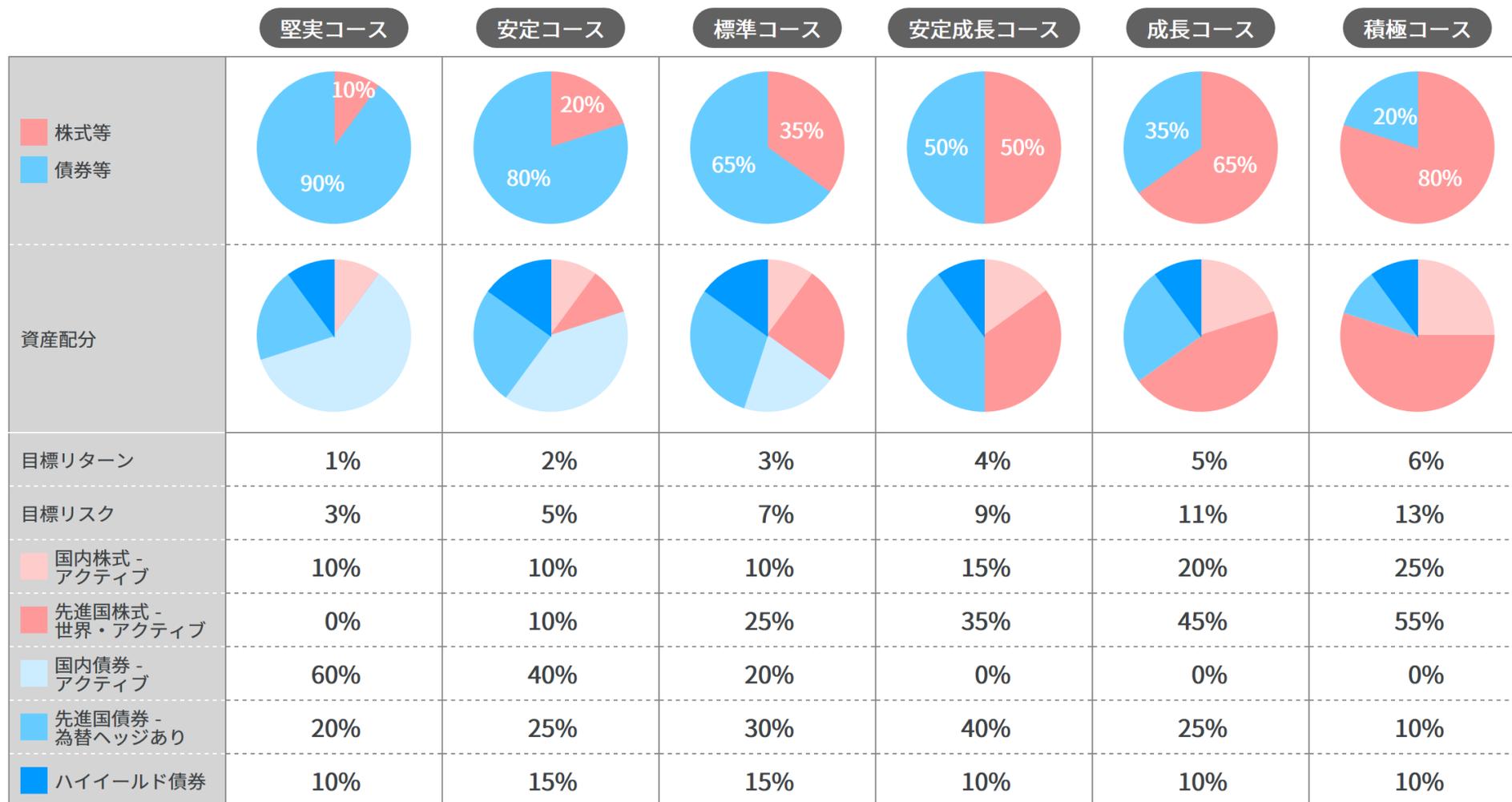
26.お客さまにお渡しできるレポート『ファンド・スケッチ』

国内ほぼ全て※の投資信託についてA3判の評価レポートを用意

※設定後1年以上の投資信託が対象



27. FFGは、こうした投資の考え方に基づいてパレットプランを提供しています



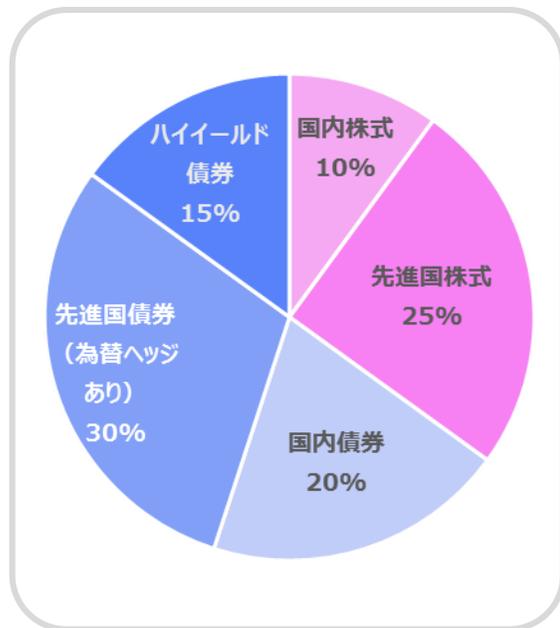
(参考) GPIFの運用ポートフォリオ

国民年金や厚生年金の年金積立金を管理・運用しているGPIF ※ は、
株式50%：債券50%のポートフォリオで長期分散投資を行っています

※GPIF: 年金積立金管理運用独立行政法人

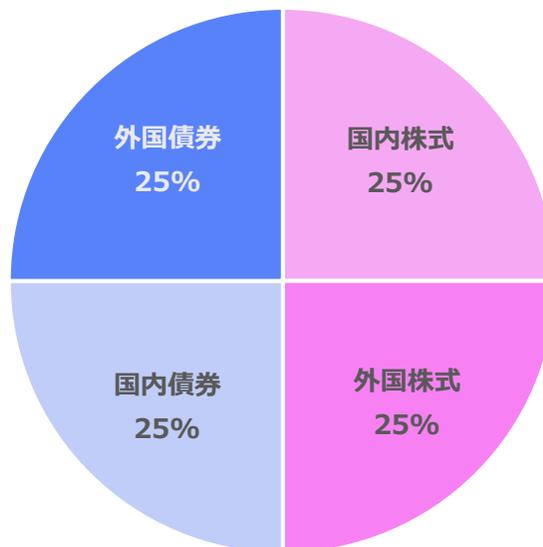
パレット・ベーシックプラン
標準コース

株式**35%**：債券**65%**



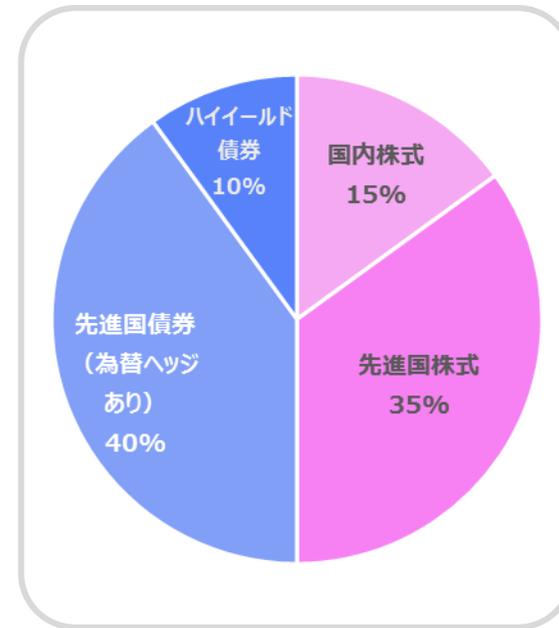
GPIFの運用ポートフォリオ

株式**50%**：債券**50%**



パレット・ベーシックプラン
安定成長コース

株式**50%**：債券**50%**



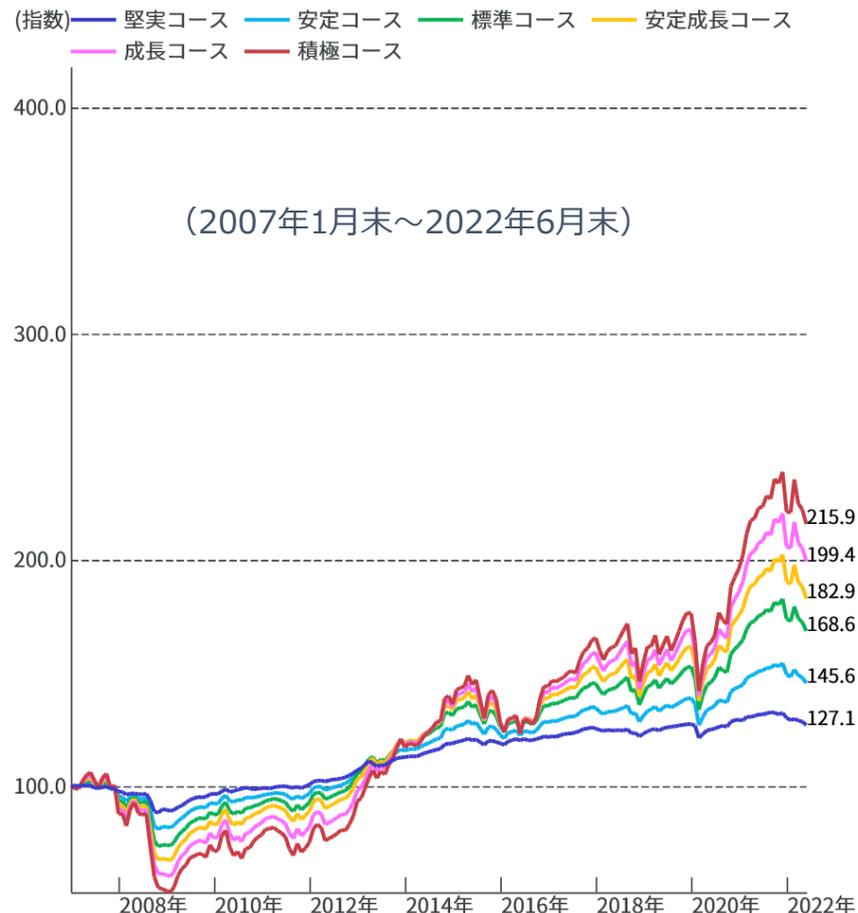
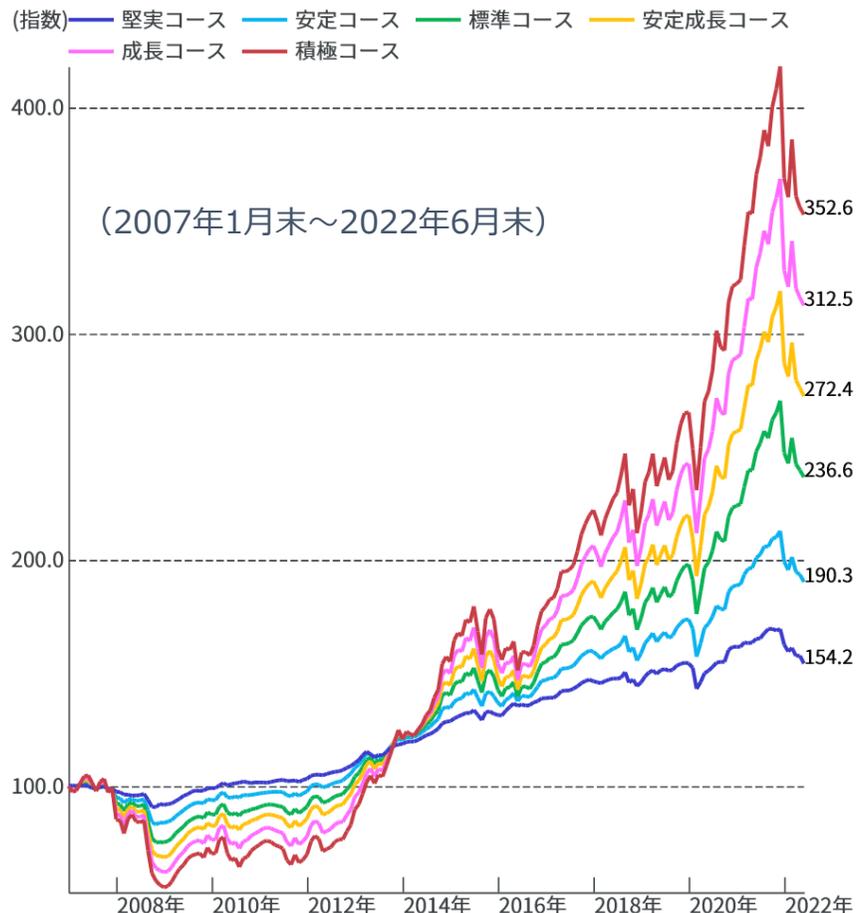
(注) GPIFは上のグラフで示した基本資産配分からの乖離許容幅を資産別に設けています (国内株式±8%、外国株式±7%、国内債券±7%、外国債券±6%)。
(出所) 年金積立金管理運用独立行政法人『年金積立金管理運用独立行政法人中期計画 (第4期)』よりFFG 投信調査センター作成。

28. 優秀な投信を選ぶことができればその効果は大きい

パレット・ベーシックプラン 6コースのパフォーマンス推移（対グループ平均比較）

ベーシック・プラン採用の投資信託でのシミュレーション

（参考）平均的な投資信託（※注参照）でのシミュレーション



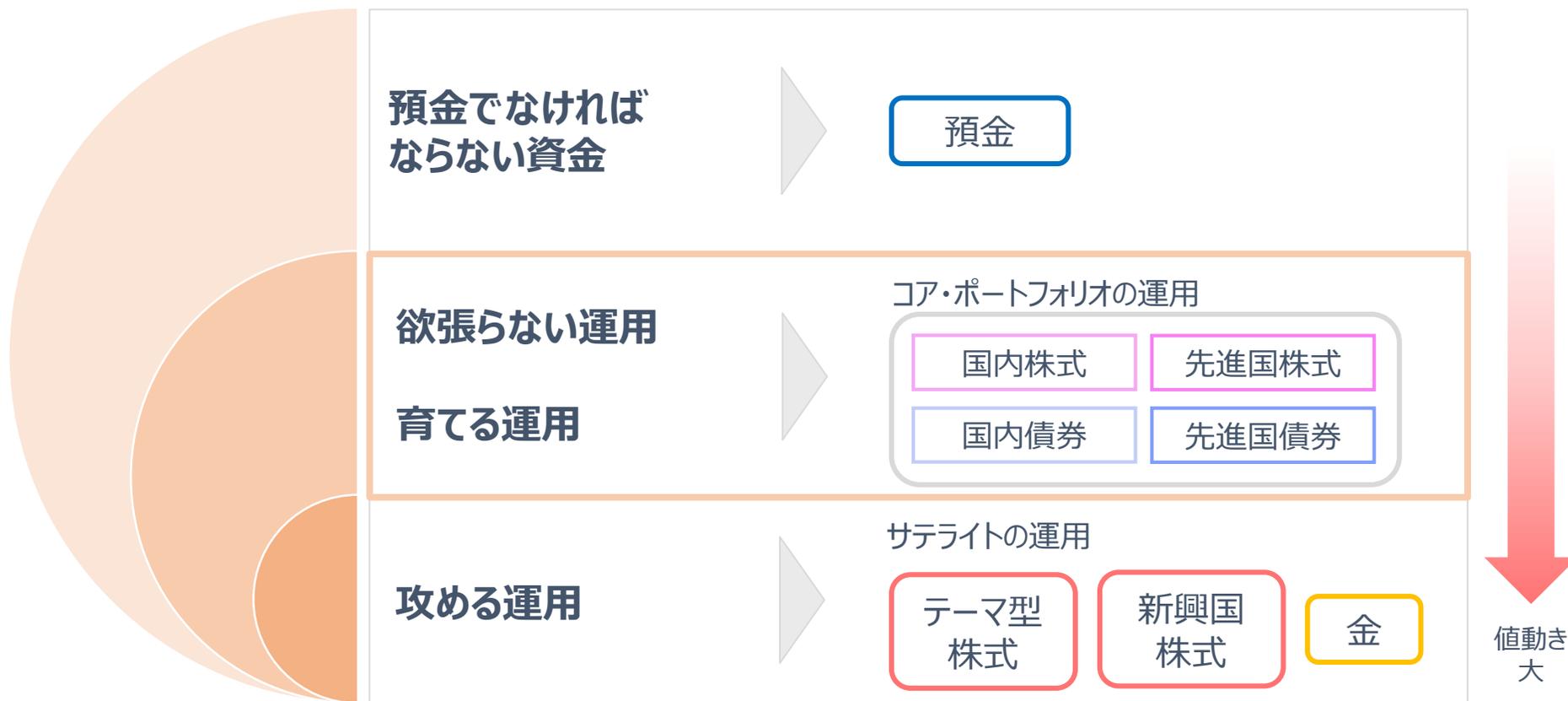
（注）左図は、実績の優れた投資信託で構成したパレット・ベーシック・プランの、各ファンドの月次リターンによるシミュレーション。各ファンドの設定前の期間については、マザーファンドが共通のファンドの月次リターン、次いで商品性が類似した投資信託群の平均月次リターンで補完して計算している。右図は、左図と同じ資産配分ながら、前述の商品性が類似した投資信託群の平均月次リターンのみを用いたシミュレーション。（出所）モーニングスター株式会社のデータを基にFFG 投信調査センター作成。

29. 欲張らない・育てる運用をパレットで実践しましょう

「欲張らない運用」とは、預金よりも少し高い利回りを目指す運用

「育てる運用」とは、十数年で2倍程度を目指す運用

- ◆ コア運用：運用実績の優秀な先進国中心の投信のポートフォリオで辛抱強く長期投資、積立
- ◆ サテライト運用：新興国株式投信やテーマ型投信等で短期～中期投資、いわば「攻める」投資



30. パレットプランの運用報告

パレットプラン 運用報告書

基本配分比率との比較

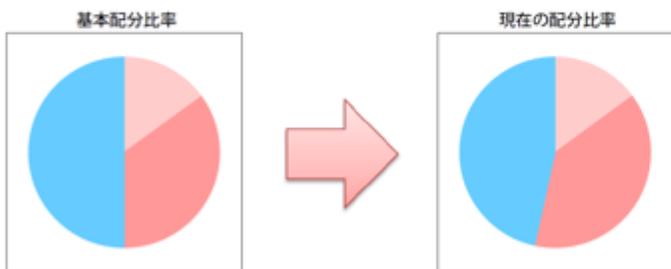
福岡銀行

作成者

作成日

基準日：2021/10/19

test 様



4 / 11

運用損益総額

福岡銀行

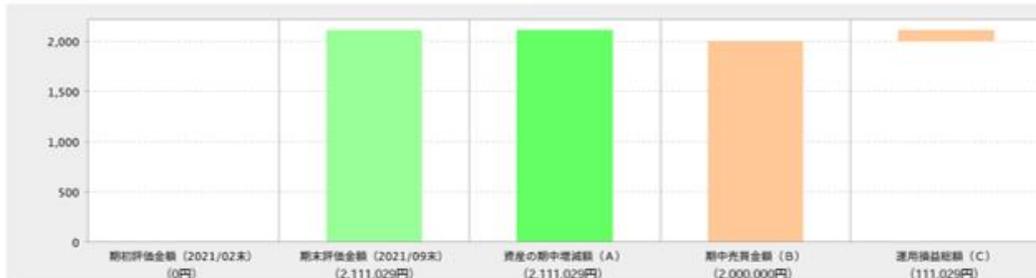
作成者

作成日

分析期間：2021/02末～2021/09末

test 様

(単位：千円)



※運用損益総額は、期中の評価額の増減額（期中の受け取り分配金を含む）から、期中の売買金額を差し引いた金額です。実現損益（分配金を含む）、評価損益を合計したものです。

年次換算リターン (日次厳密法) - リターン (日次厳密法) 3.7%

資産の期中増減額 (A)	
期初評価金額(-)	0
期末評価金額(+)	2,111,029
差引金額	2,111,029

期中売買金額 (B)	
購入金額(+)	2,004,693
解約金額(-)	0
入出庫金額(+)	0
受取分配金(-)	4,693
差引金額	2,000,000

運用損益総額 (C)	
評価損益	106,336
実現損益	0
普通分配金	4,693
運用損益総額	111,029

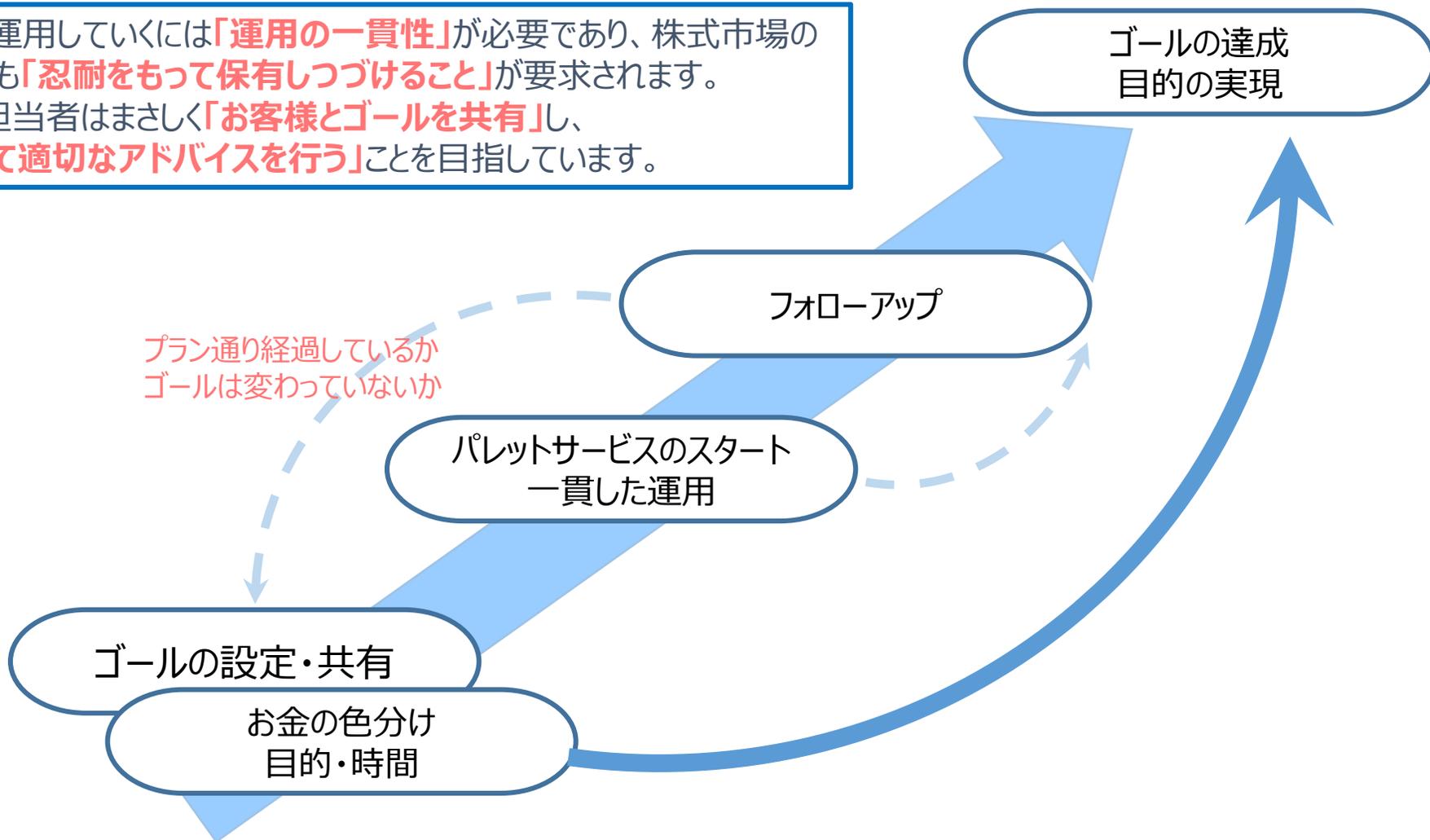
(単位：円)

6 / 11

31. 長期的なゴールを目指してplan do checkを定期的に行います

パレットサービスは中長期のゴールを見据えたサービスです

長いゴールに運用していくには「**運用の一貫性**」が必要であり、株式市場の振れに対しても「**忍耐をもって保有しつづけること**」が要求されます。
FFGの投信担当者はまさしく「**お客様とゴールを共有**」し、「**状況に応じて適切なアドバイスを行う**」ことを目指しています。



【当資料で用いているデータについてのご留意点】

【グループ】株式会社R&Dビジネスファクトリー（以下、当社といいます）が追加型の国内籍公募株式投資信託（限定追加型・DC専用商品を除く）を交付目論見書等の記載内容に基づき独自に行った45種類の商品分類です。グループごとに属している投資信託の収益率を平均した指数を「グループ平均」として、当社における投資信託の比較・分析に使用することがあります。また、今後当社が必要と判断した場合にはグループの定義や分類数等を変更する可能性があります。

【評価】国内籍公募株式型投資信託に対して、過去の定量情報を基に当社が独自に行った、各グループ内の5段階の分析スコアを指します（5点～1点の5段階、最高点は5点）。評価項目は「運用成果」、「運用成果（長期）」、「運用の安定性」、「分配金の魅力」、「分配金の安定性」、「コスト」の6項目で、各項目ごとに一定の条件を満たす投資信託を評価対象とし、後述の【リターン】、【リターン/リスク】、【実績分配金利回り・実績損益率】、【インカム率・インカム差】、および交付目論見書記載の手数料率を基に毎月評価しています。今後当社が必要と判断した場合には評価項目および評価に用いるデータ等を変更する場合があります。

【投資地域・投資通貨】運用報告書もしくは月次報告書の情報に基づいて投資信託の投資している資産の上位5地域・5通貨を示したものです。地域・通貨の区分は独自の判断によるものです。当資料で示している投資地域・投資通貨の情報はそれぞれ取得基準日および更新頻度が異なります。記載の情報が最新のものではない場合があるため、各委託会社の公表している情報を併せてご確認ください。

【リターン】各投資信託の課税前分配金再投資基準価額を基にした期間ごとの騰落率です。1年以上の期間については複利年率換算しています。なお、順位は同一期間、同一グループ内のものです。

【勝率】各投資信託の年間リターンがグループ平均もしくは特定のインデックスファンドの年間リターンを上回った頻度を示したものです。毎年1月～12月のリターンを比較し、過去10年まで、過去15年まで、設定来のデータを用いて頻度を算出します。

【単純平均リターン】1ヶ月ごとのリターン（以下、月次リターンといいます）の過去1年以上最大3年までの期間における算術平均を年率換算した値です。これを基に後述のリスクを算出しています。

【リスク】過去1年以上最大3年までの期間における月次リターンの標準偏差の年率換算値です。「下方リスク」は、同様の方法で月次リターンがマイナスの時のみのデータで算出した値です。

【リターン/リスク】単純平均リターンをリスクで除した値です。

【マイナスリターン確率】投資信託の収益率が正規分布に従うと仮定した場合に、収益率が0%以下になる確率を単純平均リターンとリスクを基に算出したものです。

【上昇月頻度】過去の一定期間において月次リターンがプラスであった頻度を百分率で示したものです。

【最大ドロウダウン】連続して月次リターンがマイナスである期間を抽出し、各期間の累積下落率の中で最大のものを示しています。

【保有期間リターン】過去のある月末から一定期間（1年、3年、5年など）の投資信託のリターンです。実際に保有して実現した収益率とは異なる場合があります。

【マイナスリターンの頻度】過去の一定期間において保有期間リターンの期初を1ヶ月ずつずらしながら集計し、その値が負であった頻度を百分率で示したものです。

FFGからのお知らせ

【 α ・ β ・決定係数】過去3年間のデータを対象として投資信託の月次リターンをそのグループ平均もしくは特定のインデックスファンドの月次リターンで回帰分析した場合における切片を α 、1次係数を β 、単回帰式の説明力を示す指標を決定係数としています。

【分配金率】直近決算日における分配金額、もしくは過去1年間の平均分配金額が今後1年間変わらないと仮定した場合の1年間の分配金額を直近営業日の基準価額で除した割合です。

【実績分配金利回り・実績損益率】1年前の基準価額に対する過去1年間の分配金額の割合を実績分配金利回り、さらに過去1年間の基準価額の増減を勘案した割合を実績損益率としています。

【利子配当利回り】委託会社が公表している投資対象の資産の利回りを基に推定した、基準価額に対する1年あたりの利子配当等収入の割合です。

【インカム率・インカム差】前述の利子配当利回りを分配金率で除したものがインカム率、減じたものがインカム差です。インカム率は利子配当利回りから示唆される利子配当収入で分配金の何%をカバーしているかを示し、インカム差は分配金率のうち利子配当利回りでカバーできなかった部分を示しています。

【目標収益率・想定リスク】国内の投資信託の定量データを基に算出した各種資産ないしポートフォリオの長期にわたるリターンとリスクの推計値です。

※特に記載のない限り各種データは月末値を用いています。

(出所) モーニングスター株式会社のデータを基に株式会社R&Dビジネスファクトリー作成。

【当資料のご利用にあたってのご留意点】

- 当資料は情報の提供を目的として作成したものです。当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。
- 当資料で表示している評価や数値等はすべて過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

【セミナーご参加にあたってのご留意点】

- 本セミナーでは、金融商品の勧誘を行うことがあります。
- これらの金融商品へのご投資には、各商品等に所定の手数料等（投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、金融商品仲介業のお取引の場合は委託金融商品取引業者の定める手数料体系に準ずる費用）をご負担いただく場合があります。
- また、各商品等には価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の「契約締結前交付書面」、「投資信託説明書（交付目論見書）」、委託金融商品取引業者ごとの約款等、またはお客さま向け資料等をよくお読みください。

【投資信託のご留意点】

●ご検討にあたっては、「商品パンフレット」「投資信託説明書（交付目論見書）」等を必ずお読みください。「商品パンフレット」「投資信託説明書（交付目論見書）」等は福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行本支店等にご用意しています。お申込みに当たっては、「投資信託説明書（交付目論見書）」の記載事項をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。●投資信託は預貯金と異なります。投資信託は預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。また、福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行で取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。●投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。●福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。●投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。投資信託の運用による損益は全て投資者に帰属します。●投資信託は、国内外の株式や債券などの値動きのある金融商品等に投資しているため、投資対象の価格が、金利の変動、為替の変動、発行者の信用状況の変化等で変動し、基準価額が下落することにより、投資元本を割り込むことがあります。●投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われるとその金額相当分、基準価額は下がります。分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があり、その場合には当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。●投資信託には手数料等がかかります。ご購入から解約・償還までの間に直接または間接にご負担いただく費用には以下のものがあります。

* 申込手数料 * 解約手数料 * 信託財産留保額 * 信託報酬 * 監査費用・有価証券売買手数料等その他費用

上記費用を足し合わせた金額をお客さまにご負担いただきます。申込・解約時の手数料および信託報酬等は、投資信託ごとに異なります。また、その他費用は運用状況により変動します。したがって、事前に料率および計算方法等を示すことができません。詳細は、「投資信託説明書（交付目論見書）」等をご覧ください。●つみたてNISAに関するご留意点は、NISA GUIDE BOOKをご覧ください。

[商号等]株式会社 福岡銀行(登録金融機関) [登録番号]福岡財務支局長（登金）第7号
[加入協会]日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

[商号等]株式会社 熊本銀行(登録金融機関) [登録番号]九州財務局長（登金）第6号
[加入協会]日本証券業協会

[商号等]株式会社 十八親和銀行(登録金融機関) [登録番号]福岡財務支局長（登金）第3号
[加入協会]日本証券業協会